

組み立てを始める前にお読みください



MORINAGA, YOH

- あらかじめ組立説明書に目を通し、全体の流れを把握しておきましょう。
- このキットは2種類の塗装例とさまざまな回収状況に応じた車輛の状態を選べますがそれぞれで一部組み立てが異なります。最初にどの状態にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤、エッチングの接着には瞬間接着剤をご使用ください。

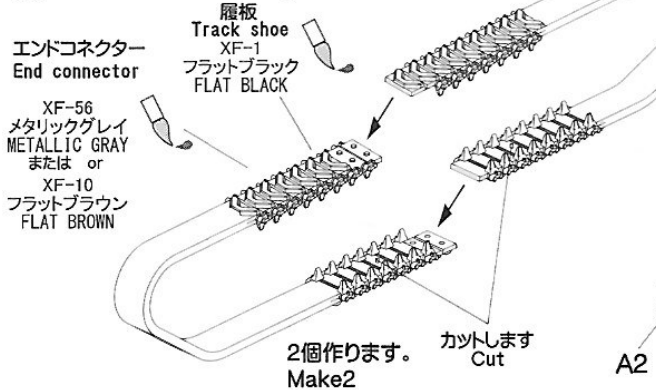
- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

1 キャタピラの組立 Track assembly

キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。キャタピラの塗装はラッカー系の塗料をご使用ください。そのままでは塗料がはがれやすいので、ガイアノーツ製「ガイアマルチプライマー」での下塗りを推奨致します。

For caterpillar assembly, please use cyanoacrylate adhesive. We advise using lacquer-based paint to coat the caterpillar. We recommend a primer.

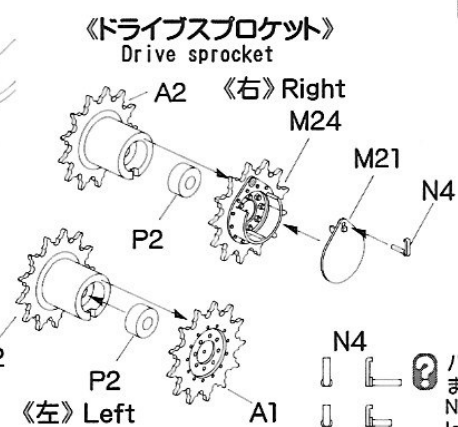
⚠ エナメル系塗料は表面を侵すので使用しないでください。 Please do not use enamel paints.



2 ドライブsprocketの組立 Drive sprocket assembly

XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB

組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。 Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

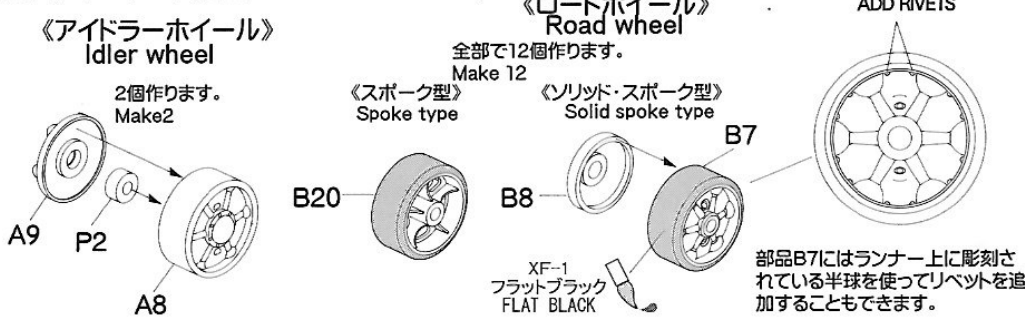


⚠ ハンドルN4をロック位置にする場合はこの部分をカットします。 If you want the Handle (N4) in lock position, cut this part.



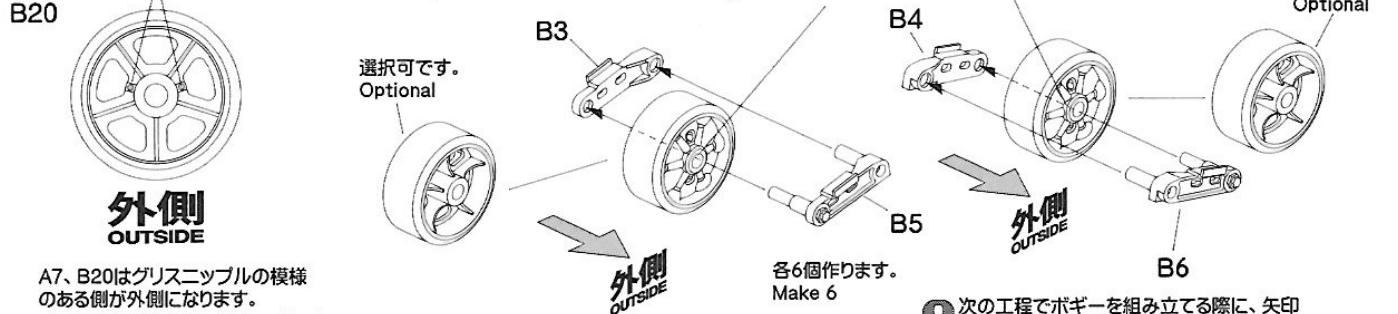
⚠ ハンドルN4は長短2種類がありますが、どちらも使用できます。 N4 handle There are two types of long and short, you can use both.

3 ホイールの組立 Wheel assembly



Rivets on B sprue are added to the rim of B7.

4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly



A7, B20はグリスニップルの模様のある側が外側になります。 For B20 and A7 the side with the grease nipple is the outside.

⚠ ホイールに接着剤が付かないように注意します。

⚠ 次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。 During bogie assembly, please note outside direction

5 ボギーの組立 Bogie assembly

ボギーは第1・第3ボギー（前後）と第2（中央）ボギーで細部が異なります。注意して組み立ててください。

サスペンションアームを組み込むまでは間を開けず一度の工程で組み立てます。

図は左側用を示しています。
The front and rear Bogies details are different from the centre bogie.
Diagrams show the left side diagram.

発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。右の図を参考にカットしてください。

原寸
Cut rubber sheet.
4.5mm X 11mm

原寸

《発泡ゴムシート》 Rubber sheet
カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。
The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram.

B9・N38、N39は裏表の向きに注意して取り付けます。

Pay attention to direction, when you install B9.

《第2（中央）》
Centre Bogies

《第1・3（前後）》
Front and rear Bogies

※接着しません。
Do not cement.

※接着しません。
Do not cement.

※接着しません。
Do not cement.

サスペンションの高さを固定したい場合はスペーサーパーツAを選びます。
If you want to fix the height of the suspension, choose the A Spacers

B18
(右側用B19)

B14

※接着しません。
Do not cement.

B9

B2

《第2（中央）》
Centre Bogies

※接着しません。
Do not cement.

N39
(右側用N38)

《第1・3（前後）》
Front and rear Bogies

B22
(右側用B21)

※接着しません。
Do not cement.

② 接着が乾くまで動かさないようにします。
Until glue dries, try not to move.

③ 接着しません。
Do not cement.

《第1・第3ボギー》
Front and rear Bogies

B18とB22（右側用はB19とB21）が完全に固着する前にサスペンションアームをボギーに押し込みます。
アームの車体側と外側の向きに注意します。
Push road wheels in before cement sets.

《第1・第3ボギー》
Front and rear Bogies

N43

N43

④ N42

④ メインブームを起立状態にするときはここでN42を取付けます。
When main boom is raised install N42.

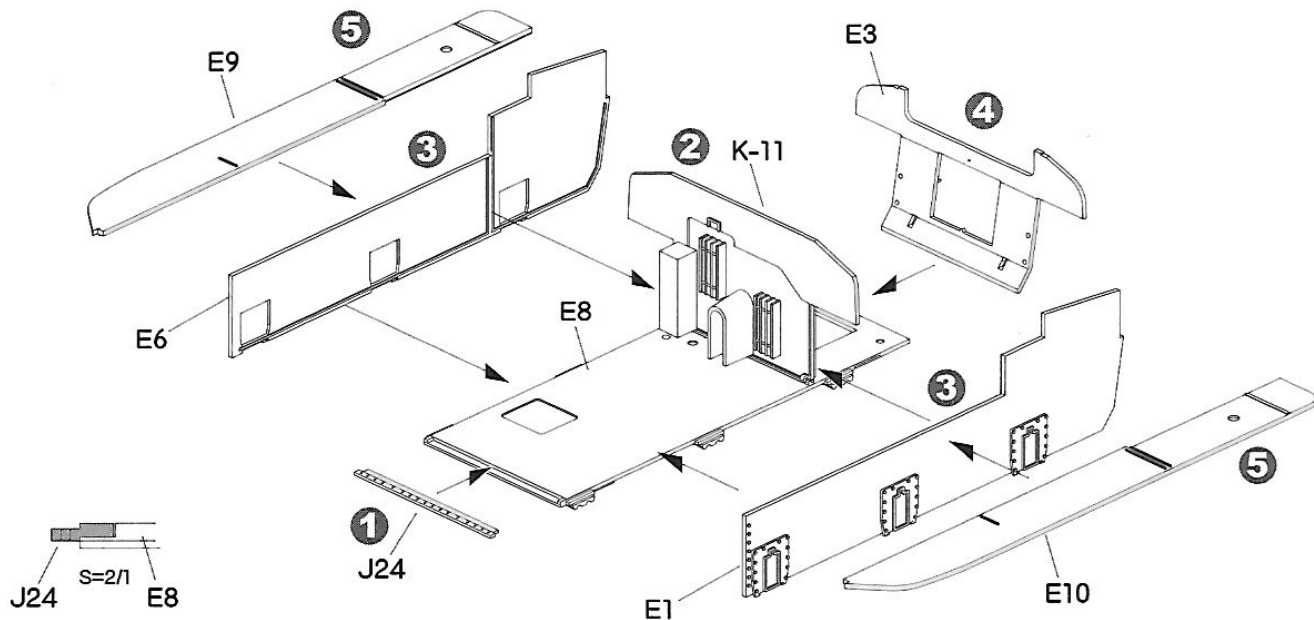
④ N42

N43

6 車体下部の組立

①から⑤の順番に組み立てます。各部件の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。この工程は中断せず一度に組み立てて下さい。

Assemble steps ① to ⑤ in sequence. This assembly should be performed without interruption.



7 エアクリナーの組立 Air cleaner assembly

《エアクリナーA》
Air cleaner A

F13(右側F12) F16(右側F15)

エッチング6
PE6

cut off

エッチング6
PE6

F19

① エッチング6は接着面側に付くもののみ上端をカットして使用します。
Cut only one PE6 as per diagram.

① F19はエッチング6の向きにあわせて取り付けます。
F19 is mounted to match the orientation of PE 6.

《エアクリナーB》
Air cleaner B

F9

F3(右側F4)

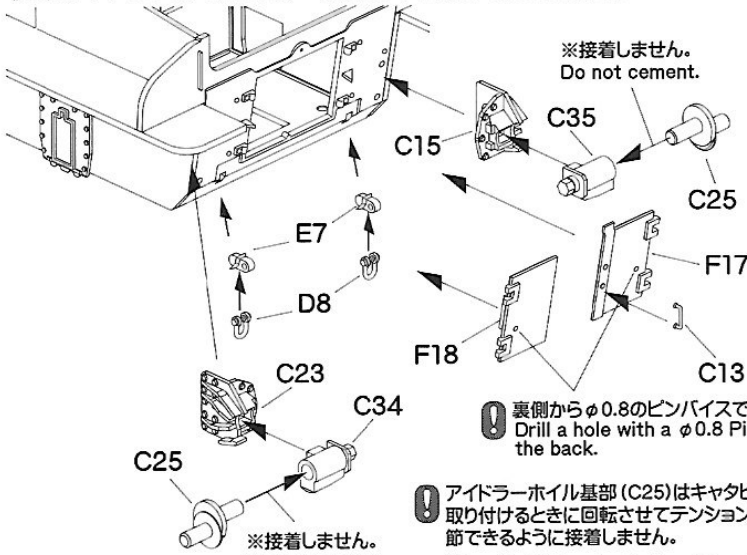
F5(右側F6)

F7

F9

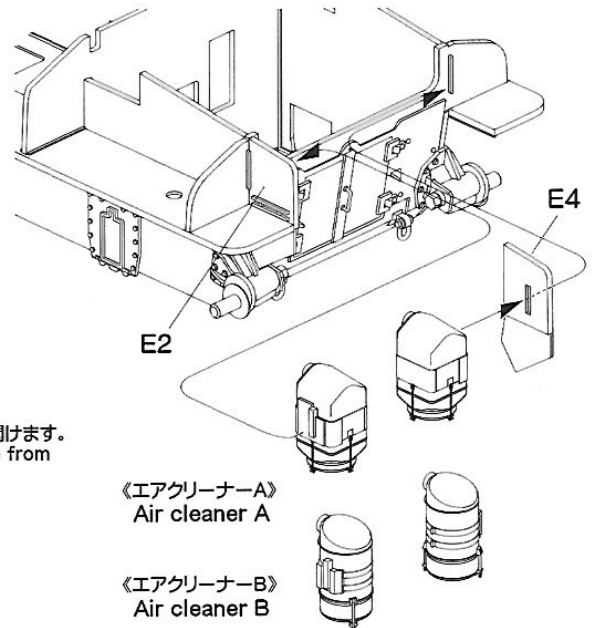
F7の向きは特に決まっていますが、車体の対角線方向に留め金F9が向いている場合が多いようです。
Orientation of F7 is not fixed.

8 リヤパネルの組立 Rear panel assembly



① 裏側からφ0.8のピンバイスで穴を開けます。
Drill a hole with a φ0.8 Pin vice from the back.

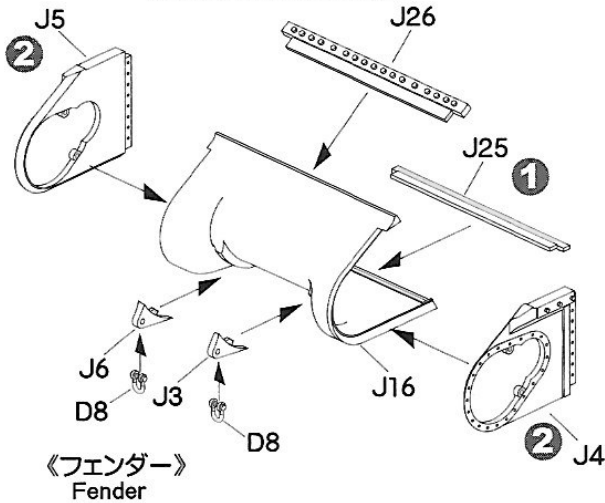
② アイドラーホイール基部(C25)はキャタピラを取り付けるときに回転させてテンションを調節できるように接着しません。
When installing track, turn idler base (C25) to adjust tension in the track.



9 デファレンシャルカバーとフェンダーの組立 Differential cover assembly

《デファレンシャルカバー》
Differential cover

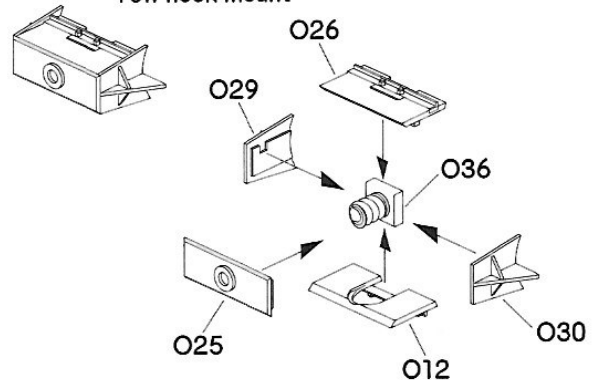
①から番号順に組み立てます。
Assemble in numerical order.



10 牽引フック基部とドロウバー小の組立

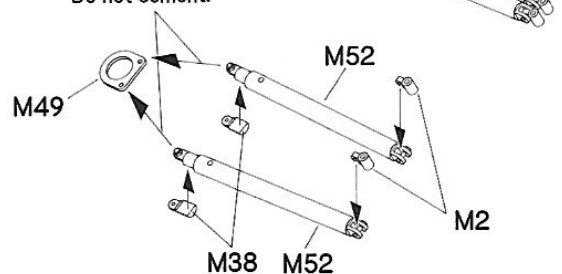
Tow hook mount and small draw bar assembly.

《牽引フック基部 前》
Tow hook mount



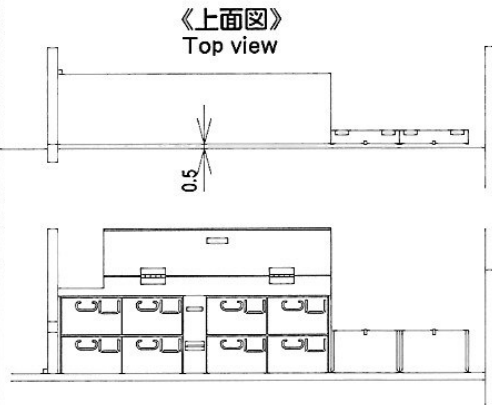
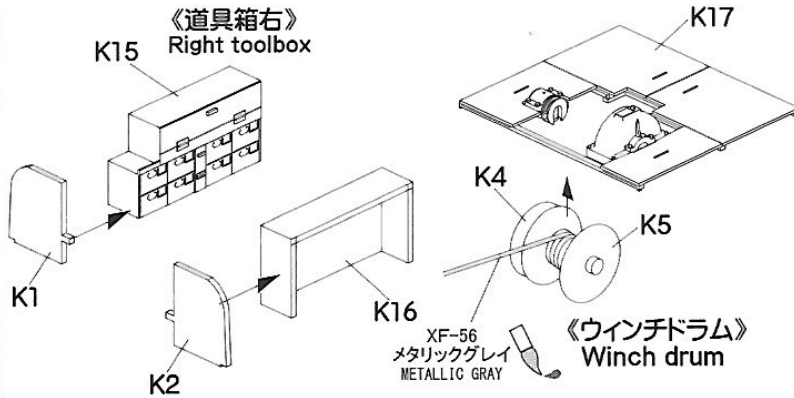
《ドロウバー小》
Draw bar

※接着しません。
Do not cement.



11 ウィンチの取付け Winch assembly

ウィンチドラムに1.5mに切ったワイヤーを巻き付け、完成時に必要な長さより多少余裕をもたせて伸ばしておきます。糸が解けないようにウィンチドラムは基部に接着してください。
Cut a 1.5m thread and wind around the Winch Drum. Affix Winch drum so it does not rotate and tangle thread.

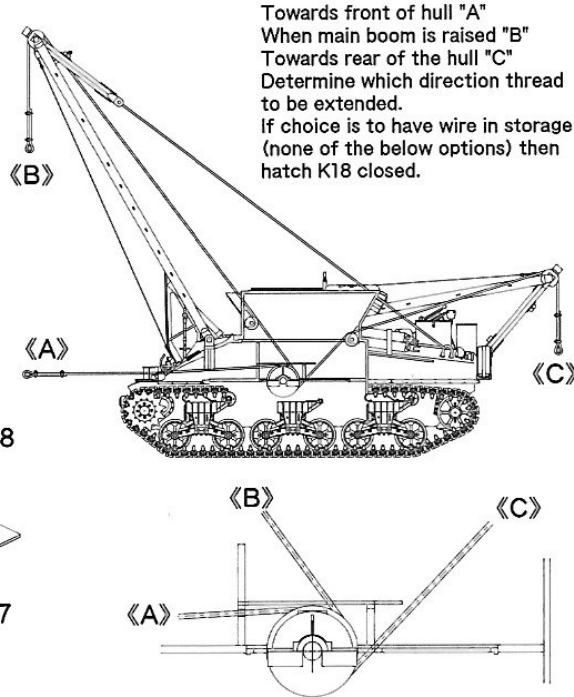
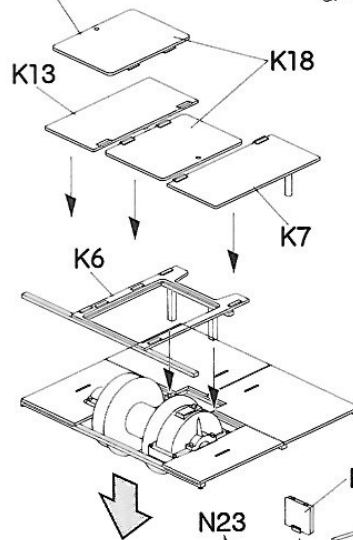


《車体内部の塗装について》 Hull internal paint guide

M32の車体内部は運転席はホワイト、それ以外の作業区画は基本的にオリーブドラブに塗装されていたようです。車輛によっては車体下部の側面まではホワイトに塗られた車体もあったようです。

On the M32 the driver's compartment was white, other than that it seems elsewhere to have been painted in Olive Drab.

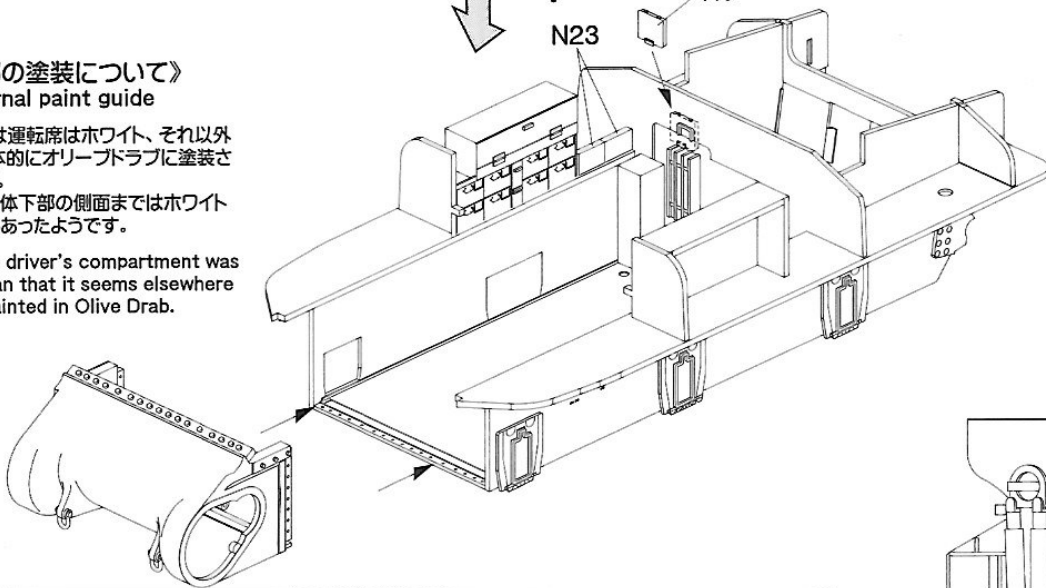
③ ワイヤーを《B》にする場合は開状態で接着します。
If choosing option B then K18 hatch open.



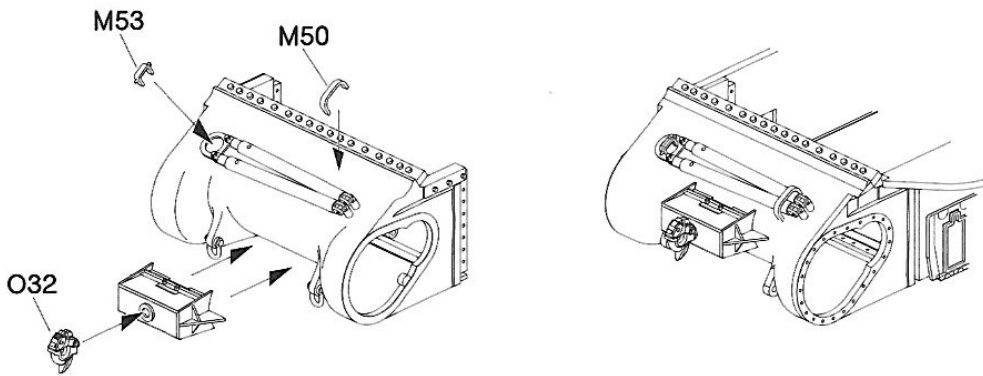
Towards front of hull "A"
When main boom is raised "B"
Towards rear of the hull "C"
Determine which direction thread to be extended.
If choice is to have wire in storage (none of the below options) then hatch K18 closed.

ワイヤーを伸ばす方向をあらかじめ決めておきます。収納状態とするときはワイヤーをウィンチドラムに巻き付け、ハッチK18を開めます。

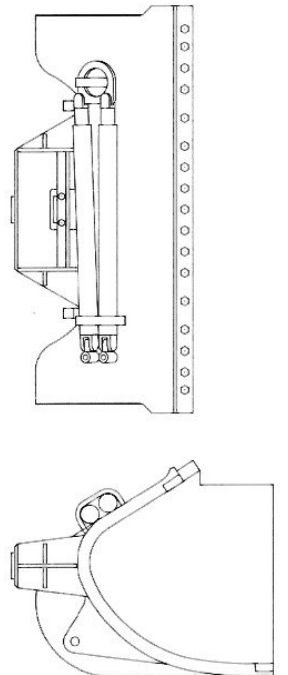
- 《A》車体前面
- 《B》メインブーム起立時
- 《C》車体後方



12 牽引フック基部とドロウバー小の取付け Tow hook mount and small draw bar

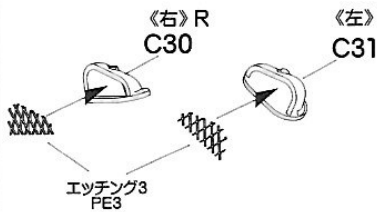


② 取付け自由です。 Optional

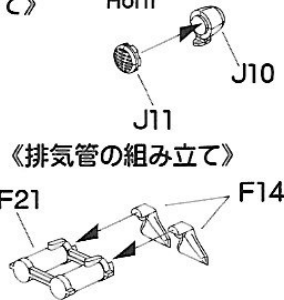


13 車体上部部品の組立 Hull top assembly

《グローサーボックスカバーの組み立て》
Grouser box cover

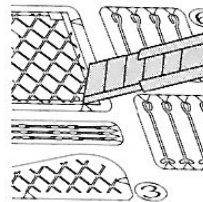


《ホーンの組み立て》
Horn

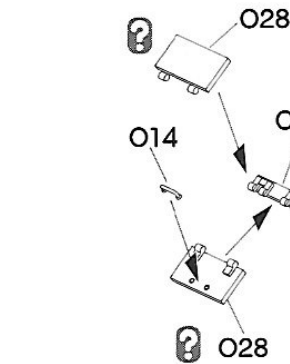


《エッチングパーツについて》

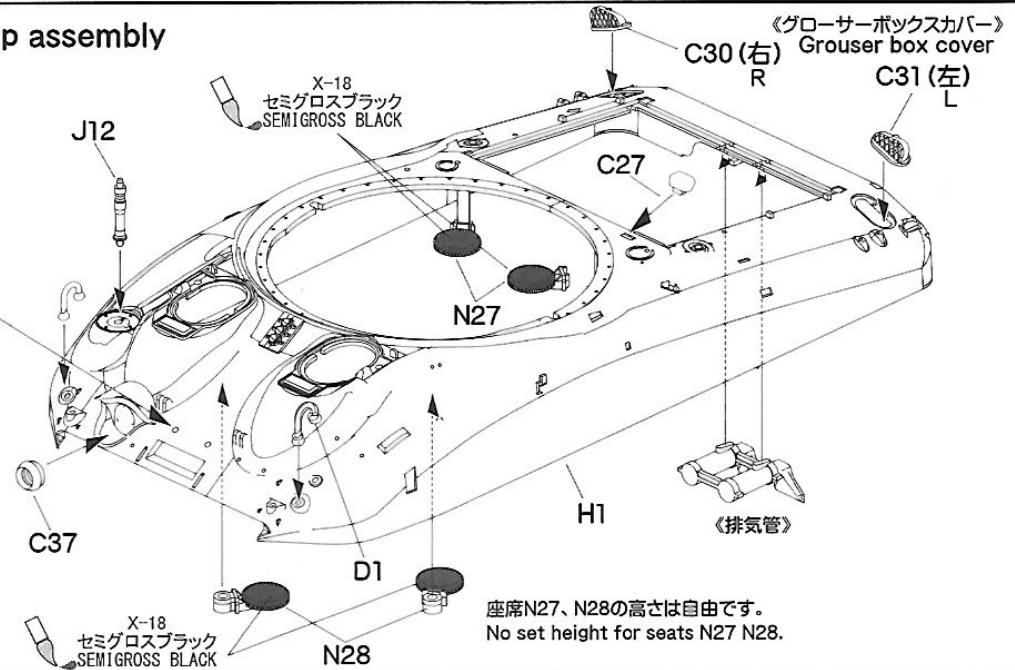
- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(繋ぎ目)の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。



14 車体上部の組立 Hull top assembly



② ワイヤーを《A》の位置から出す場合はO28を開状態にします。



座席N27、N28の高さは自由です。
No set height for seats N27 N28.

15 車体上部の取り付け Hull top mountings assembly

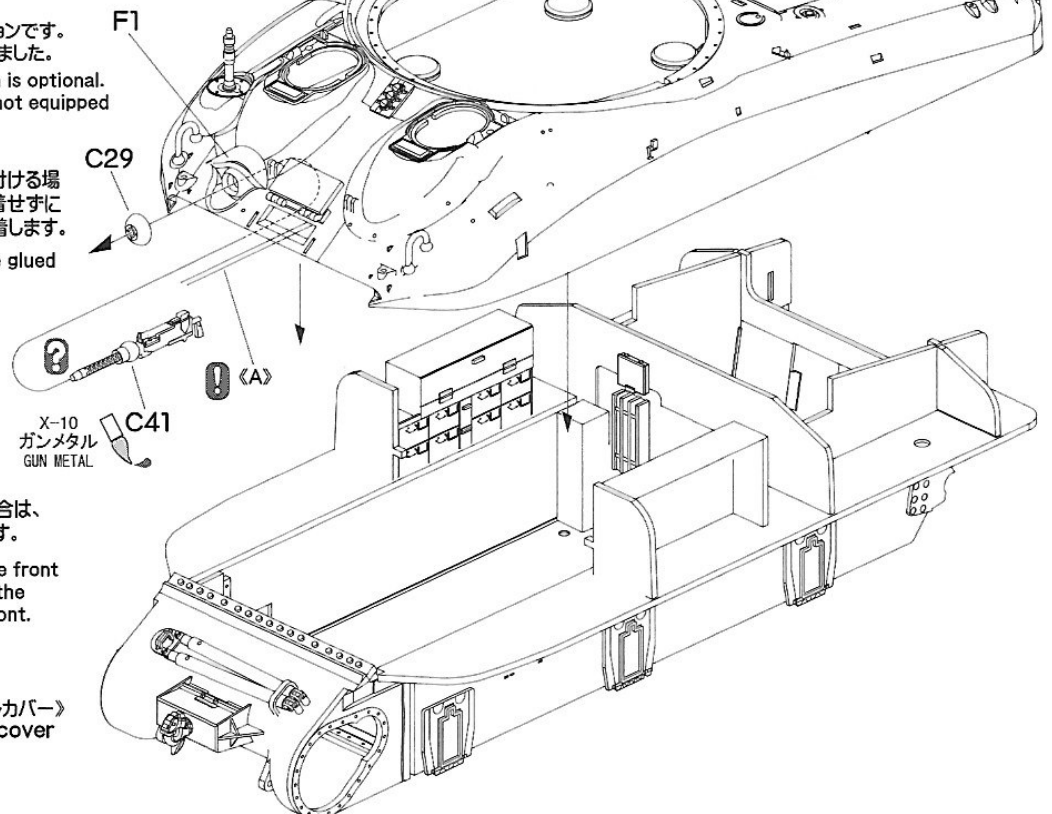
車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかりと接着してください。

Make sure upper hull is firmly affixed.

② 車体前方機銃はオプションです。装備していない車輛もありました。
Forward machine gun is optional. Some vehicles were not equipped with it.

車体前方機銃C41を取付ける場合はは車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。

Part C41 must only be glued to part C29.



② 車体前方からワイヤーを伸ばす場合は、前面の開口部にワイヤーを通します。

If you extend the wire from the front of the hull (Option A), thread the wire into the opening at the front.

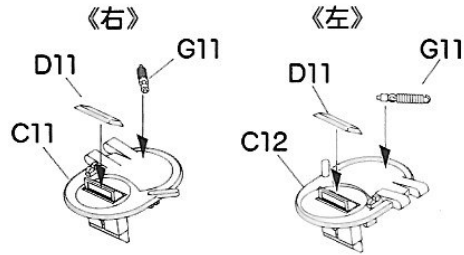
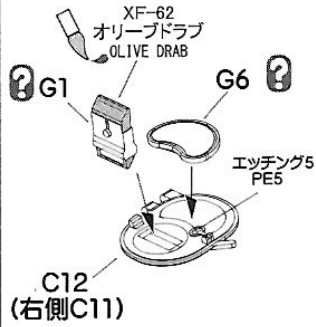
《ディファレンシャルカバー》
Differential cover

16 ドライバースハッチの組立 Drivers hatch assembly

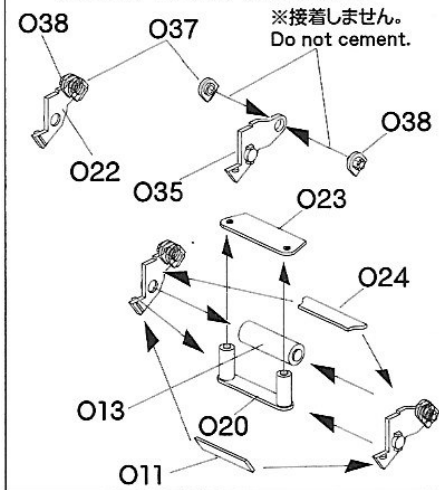
《ハッチ裏側の工作》

ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。
G1 choose either clear or colored periscope.

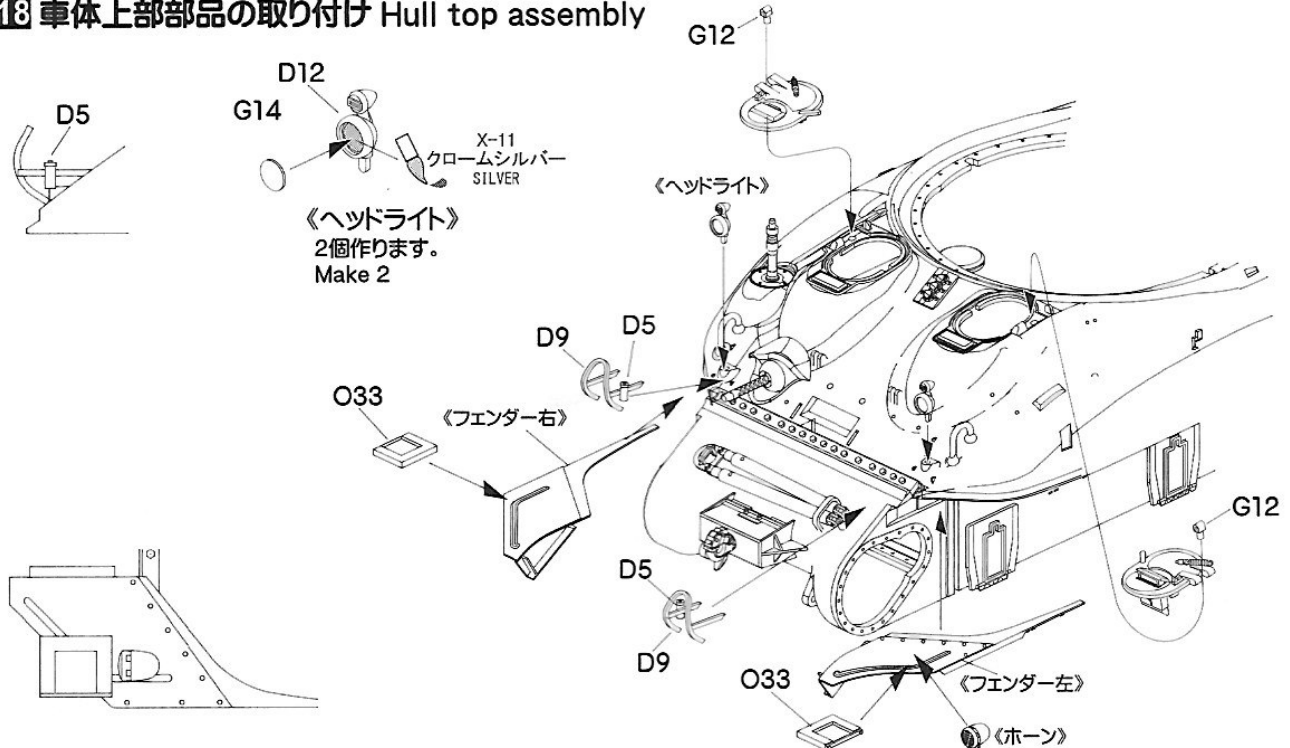
φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取手を付けるとよりリアルに仕上がります。右の原寸図を参考に工作してください。



17 ガイドローラーの組立て Guide roller assembly

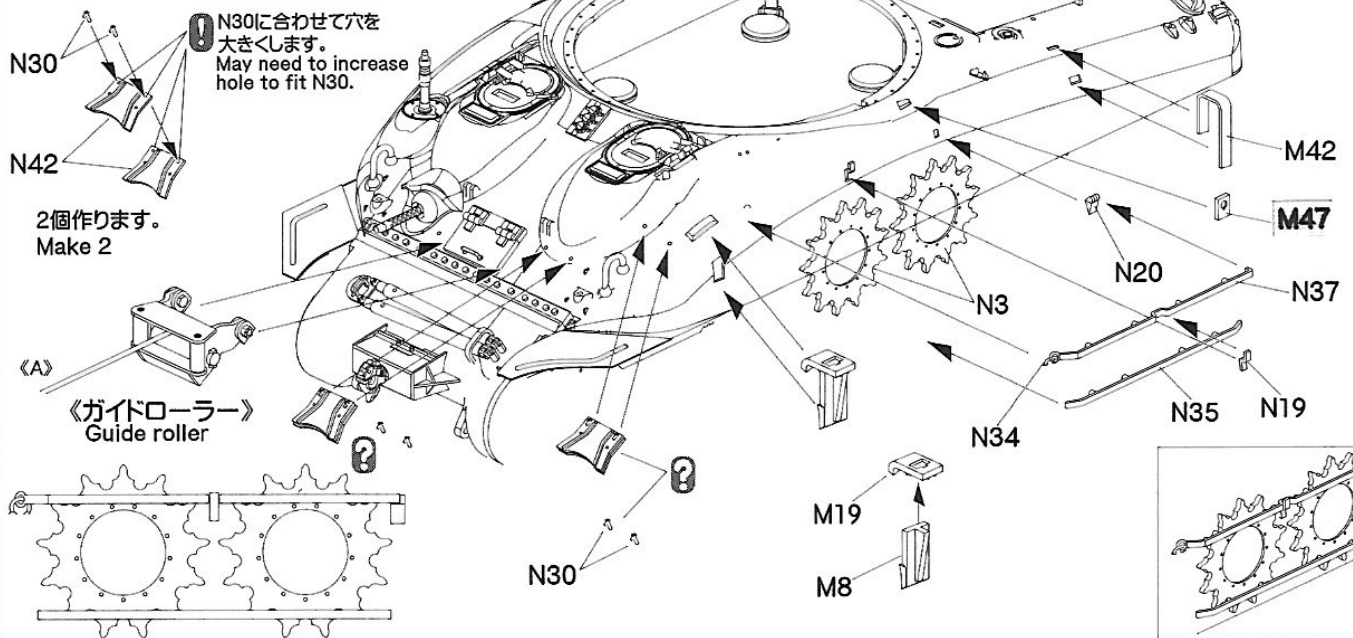


18 車体上部部品の取り付け Hull top assembly

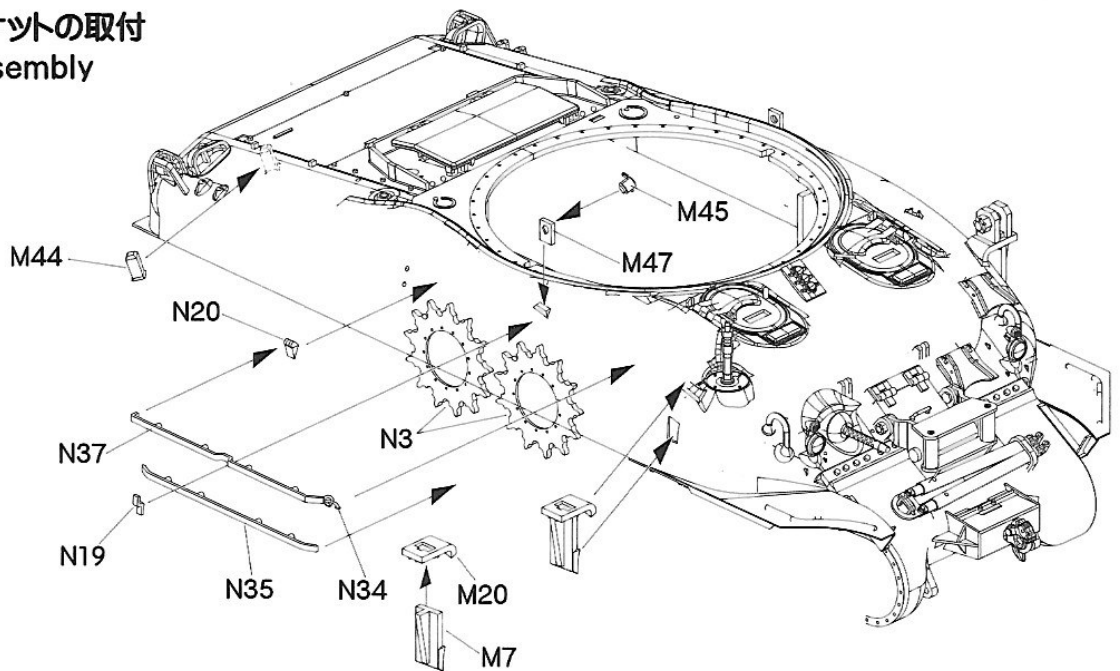


19 ガイドローラーの取り付け Guide roller assembly

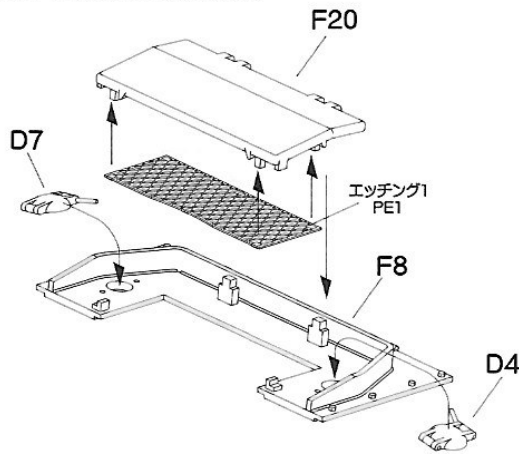
メインブーム起立時以外はここでN42を取付けます。
メインブーム起立時はN30だけを取付けます。
If main boom is raised install N42 and N30. See section 5 for N42 when main boom is raised.



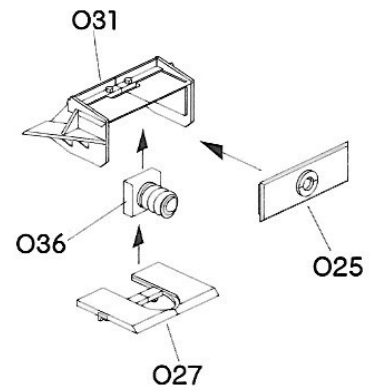
20 予備スプロケットの取付
Hull top assembly



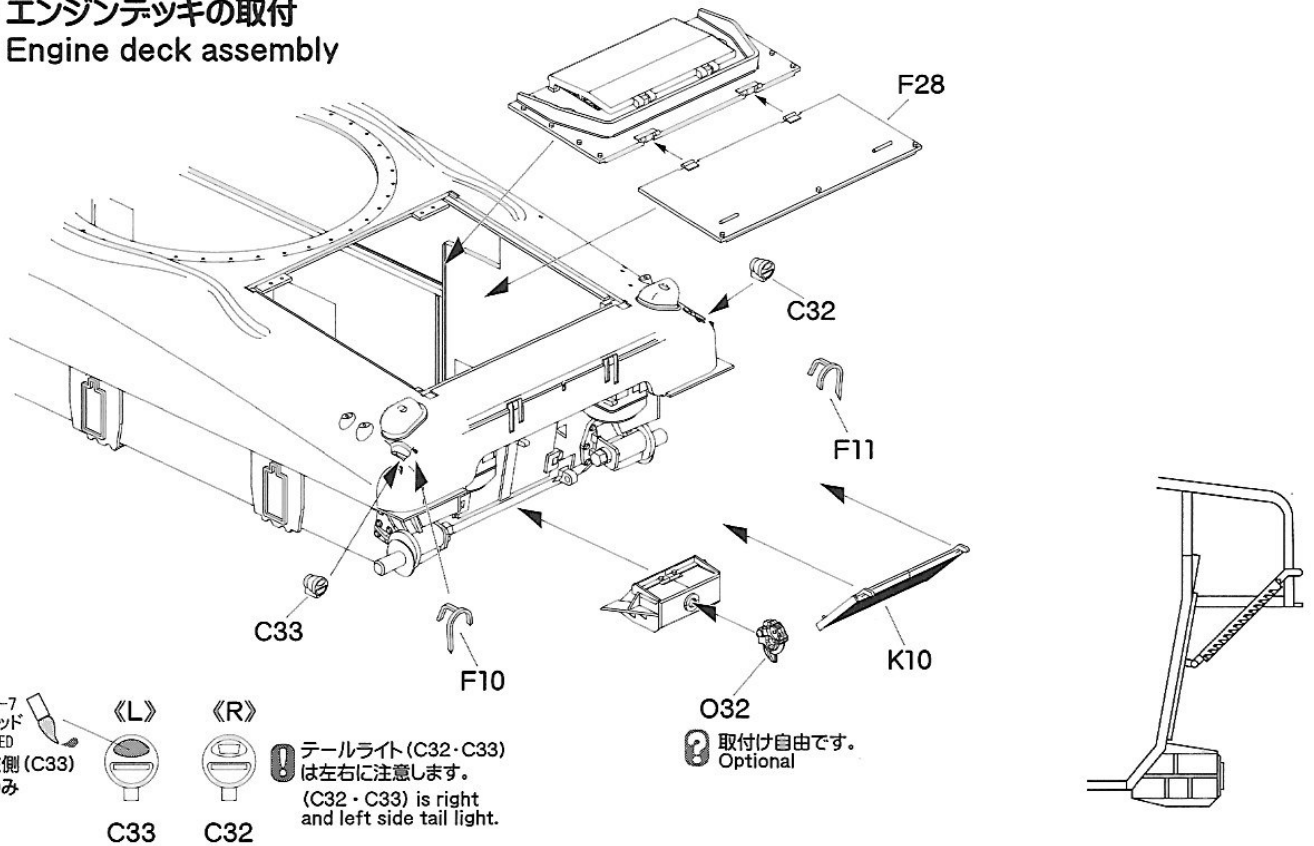
21 エンジンデッキの取り付け
Engine deck assembly



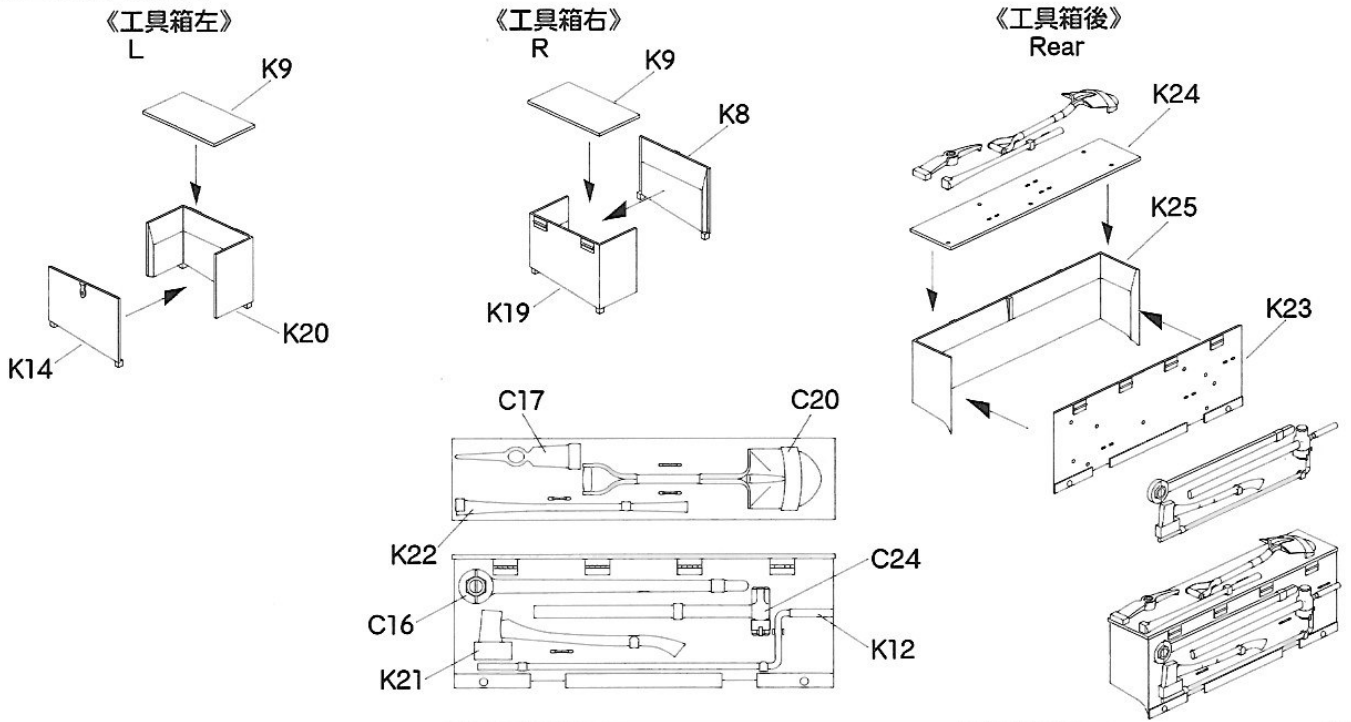
22 牽引フック基部(後)の組立
Tow hook mount assembly



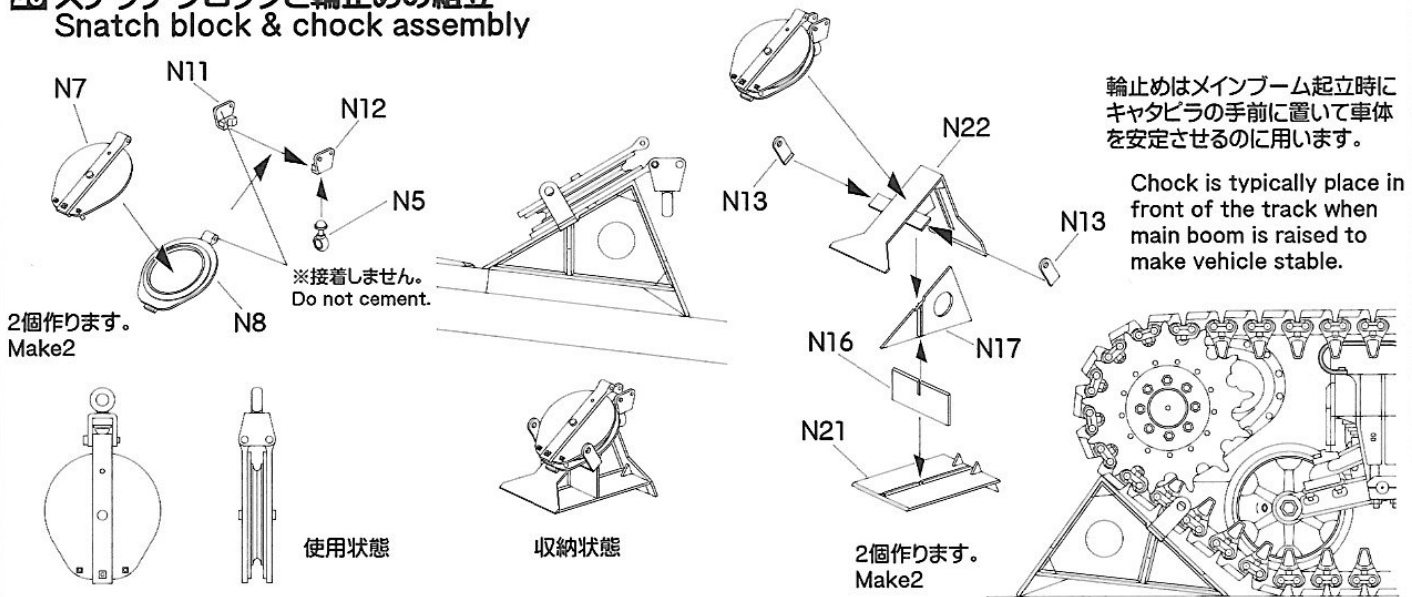
23 エンジンデッキの取付
Engine deck assembly



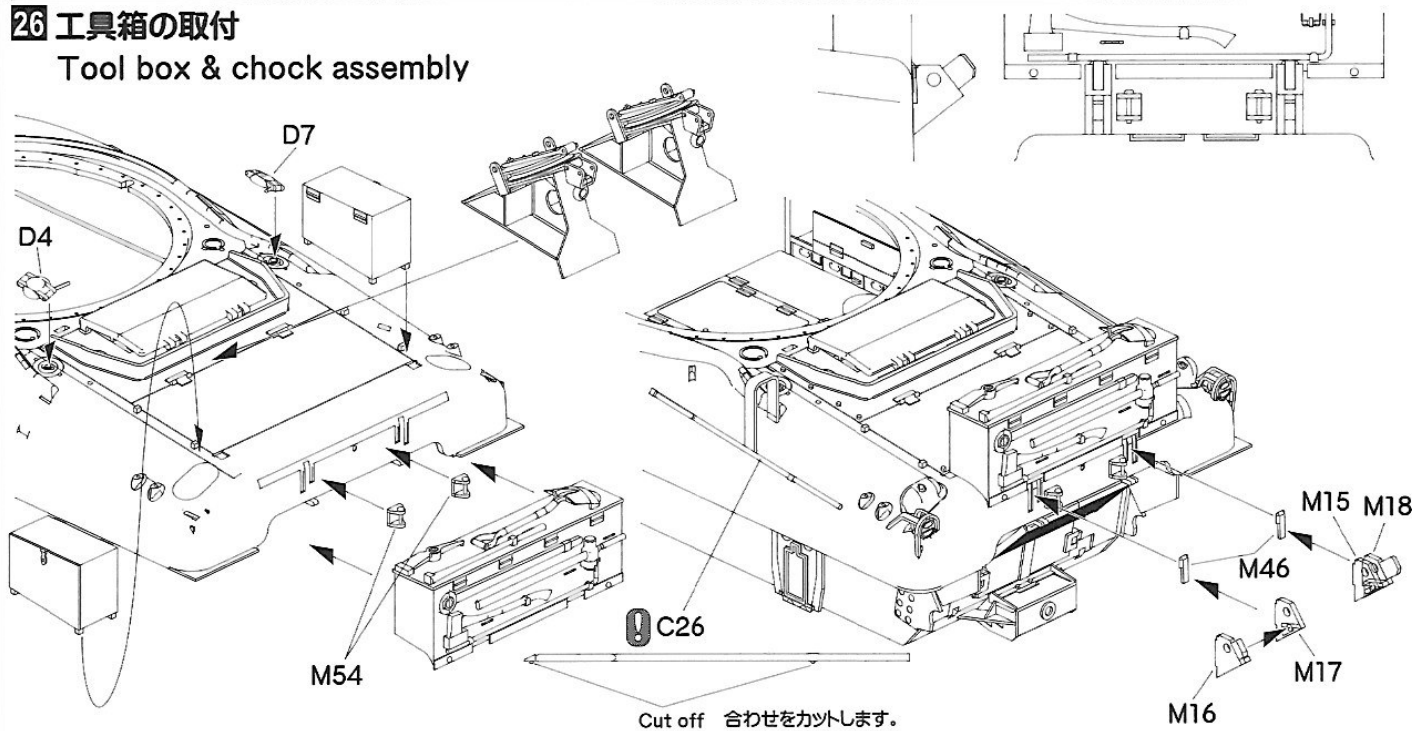
24 工具箱の組立 Tool box assembly



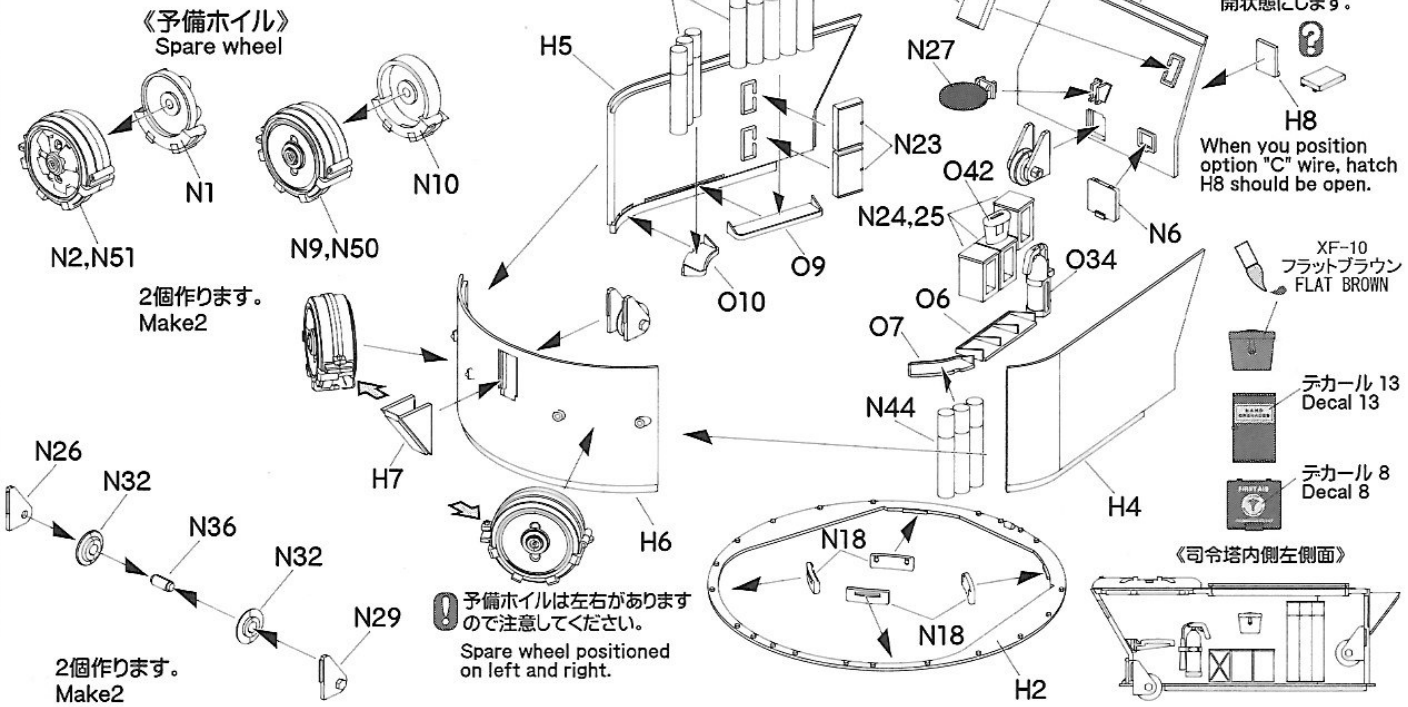
25 スナッチブロックと輪止めの組立 Snatch block & chock assembly



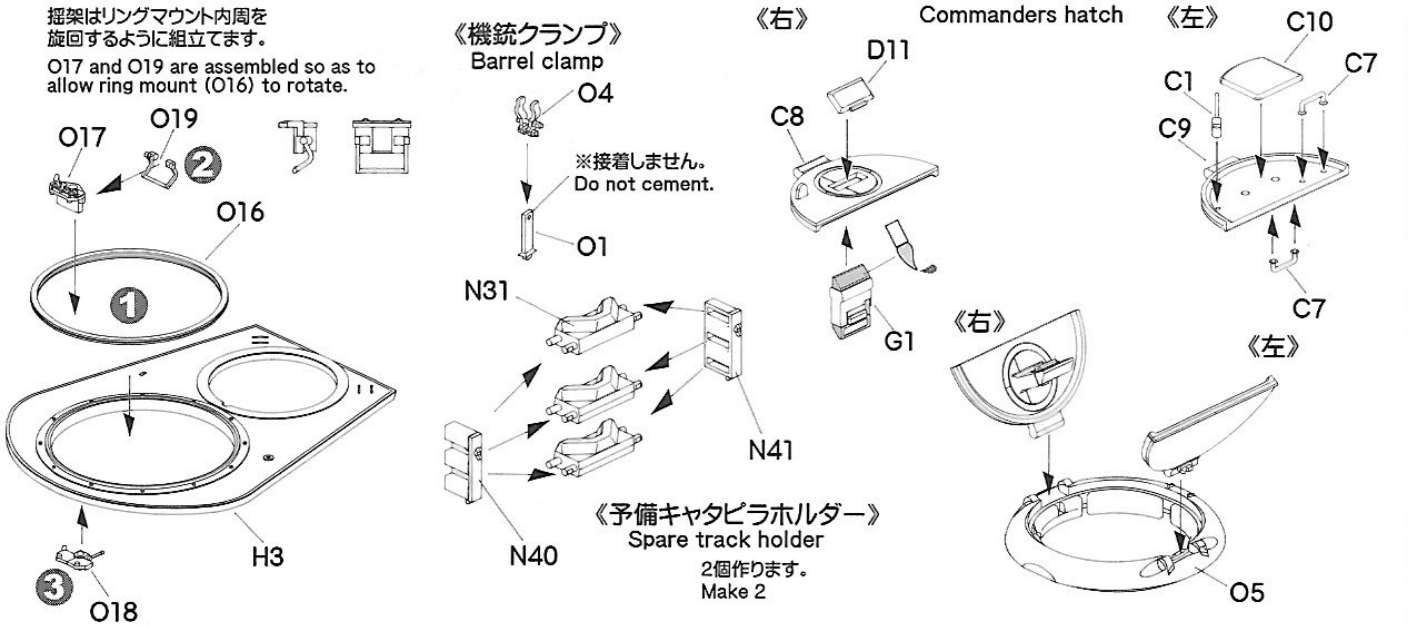
26 工具箱の取付 Tool box & chock assembly



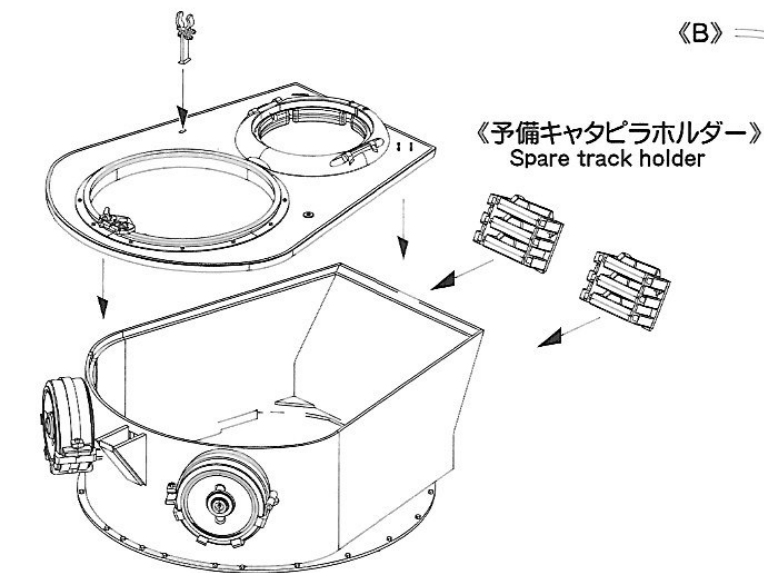
27 司令塔の組立 Turret assembly



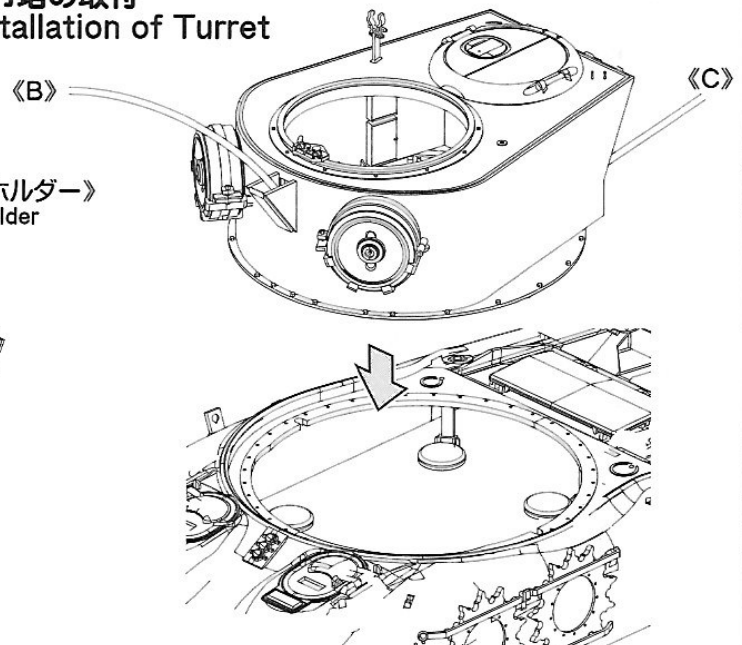
28 司令塔天板の組立 Turret top assembly



29 司令塔天板の取付 Installation of Turret top

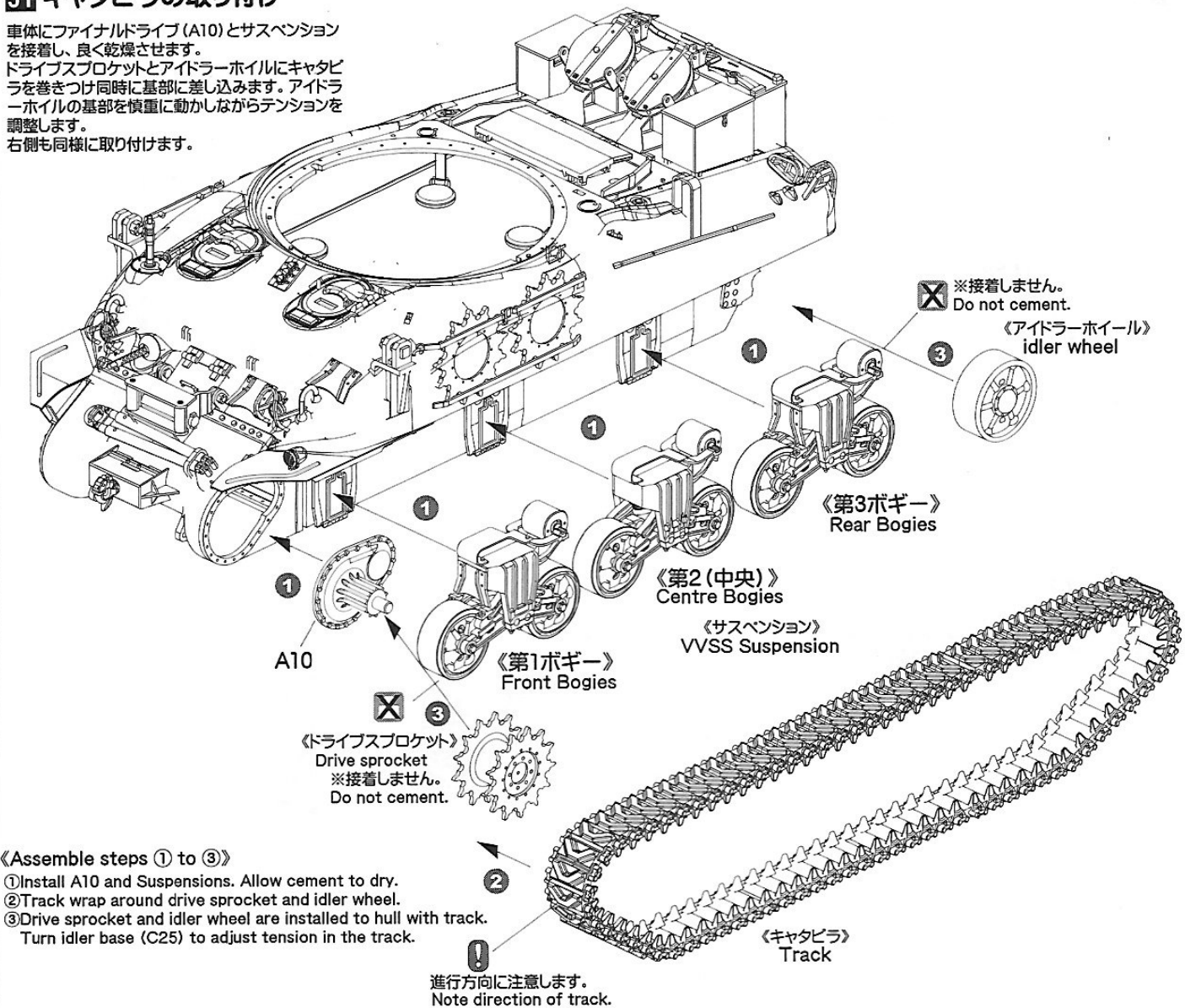


30 司令塔の取付 Installation of Turret



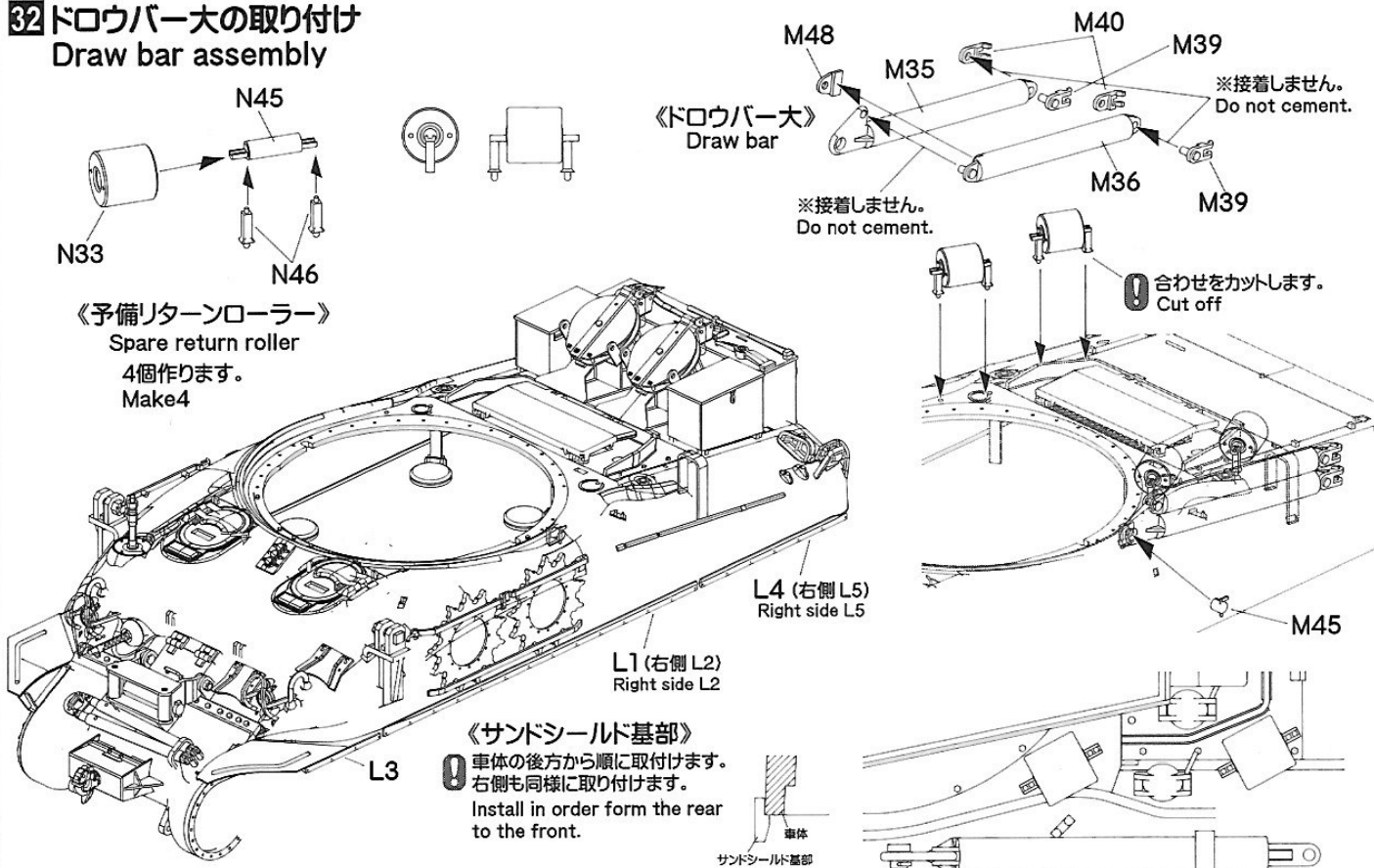
31 キャタピラの取り付け

車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブプロケットとアイドルホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。アイドルホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。右側も同様に取り付けます。

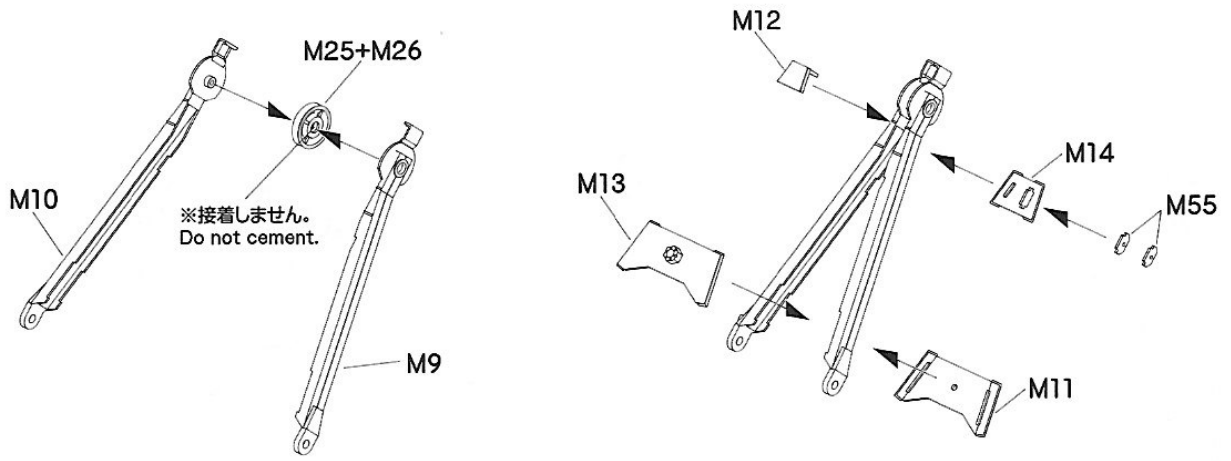


32 ドロウバー大の取り付け

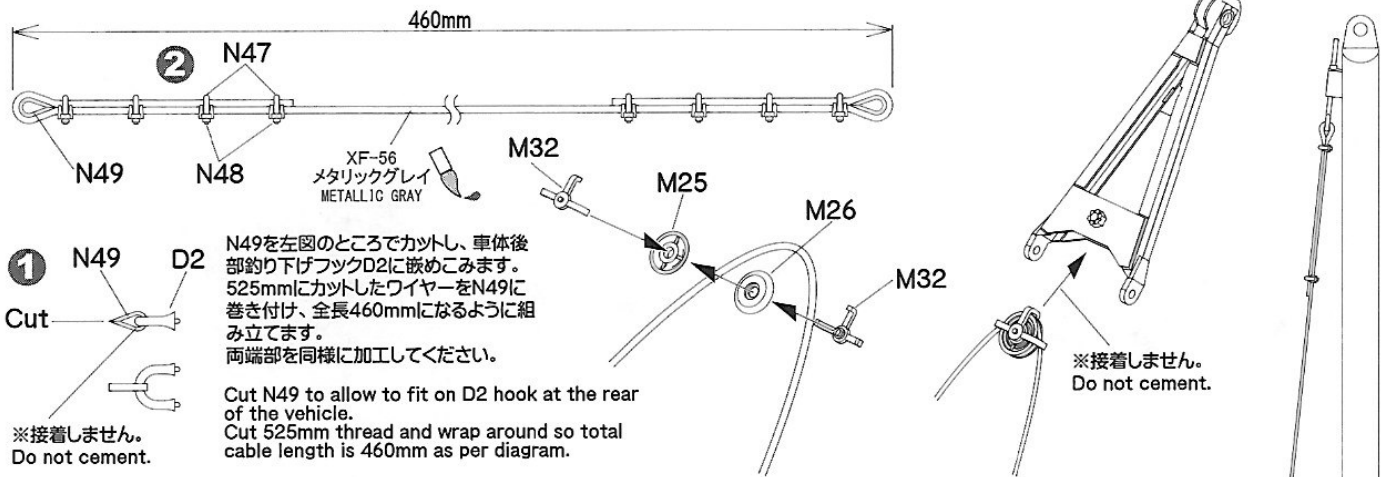
Draw bar assembly



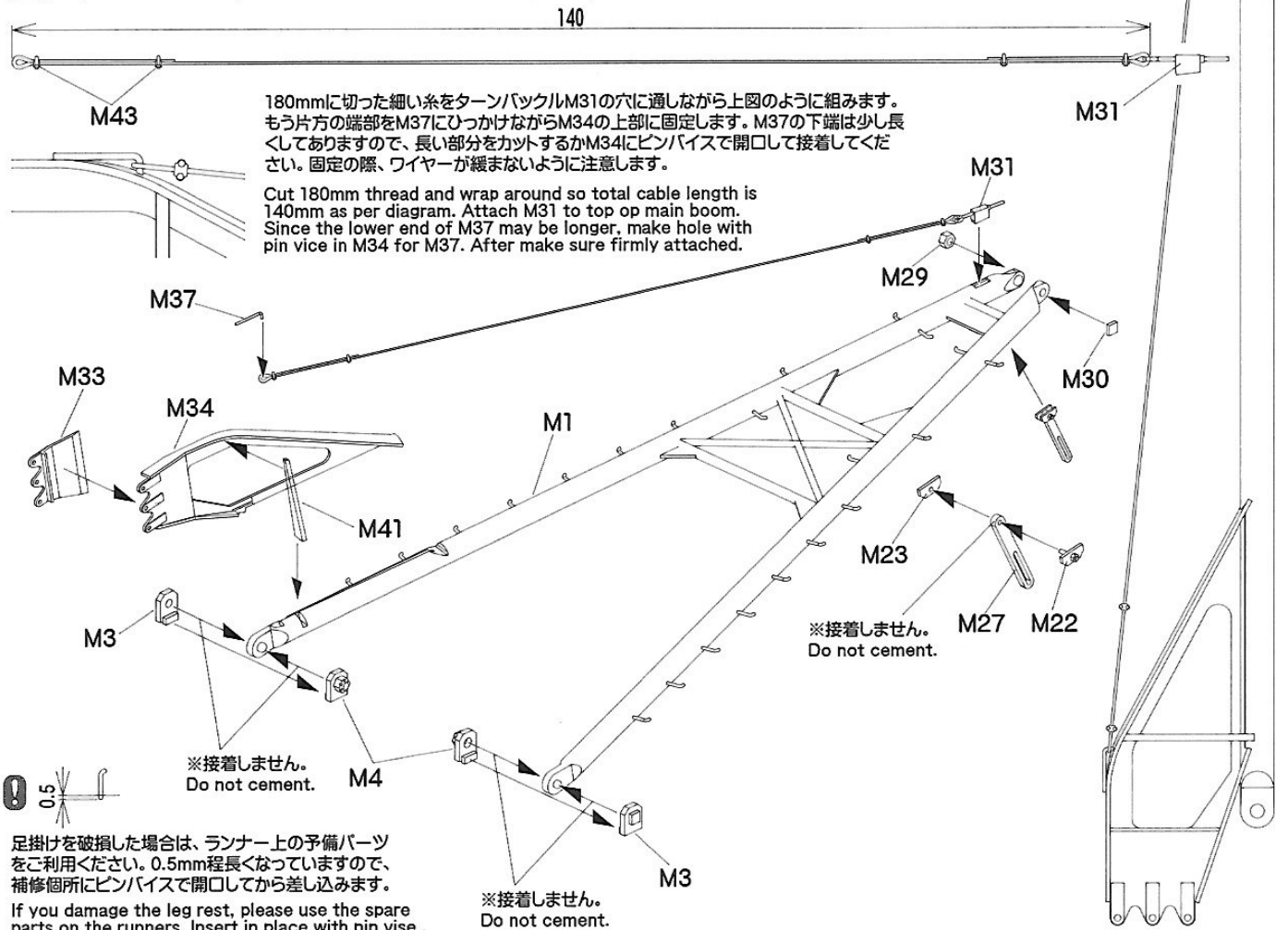
33 Aフレームの組立 A frame assembly



34 メインブーム起倒ワイヤーの取付 A frame assembly

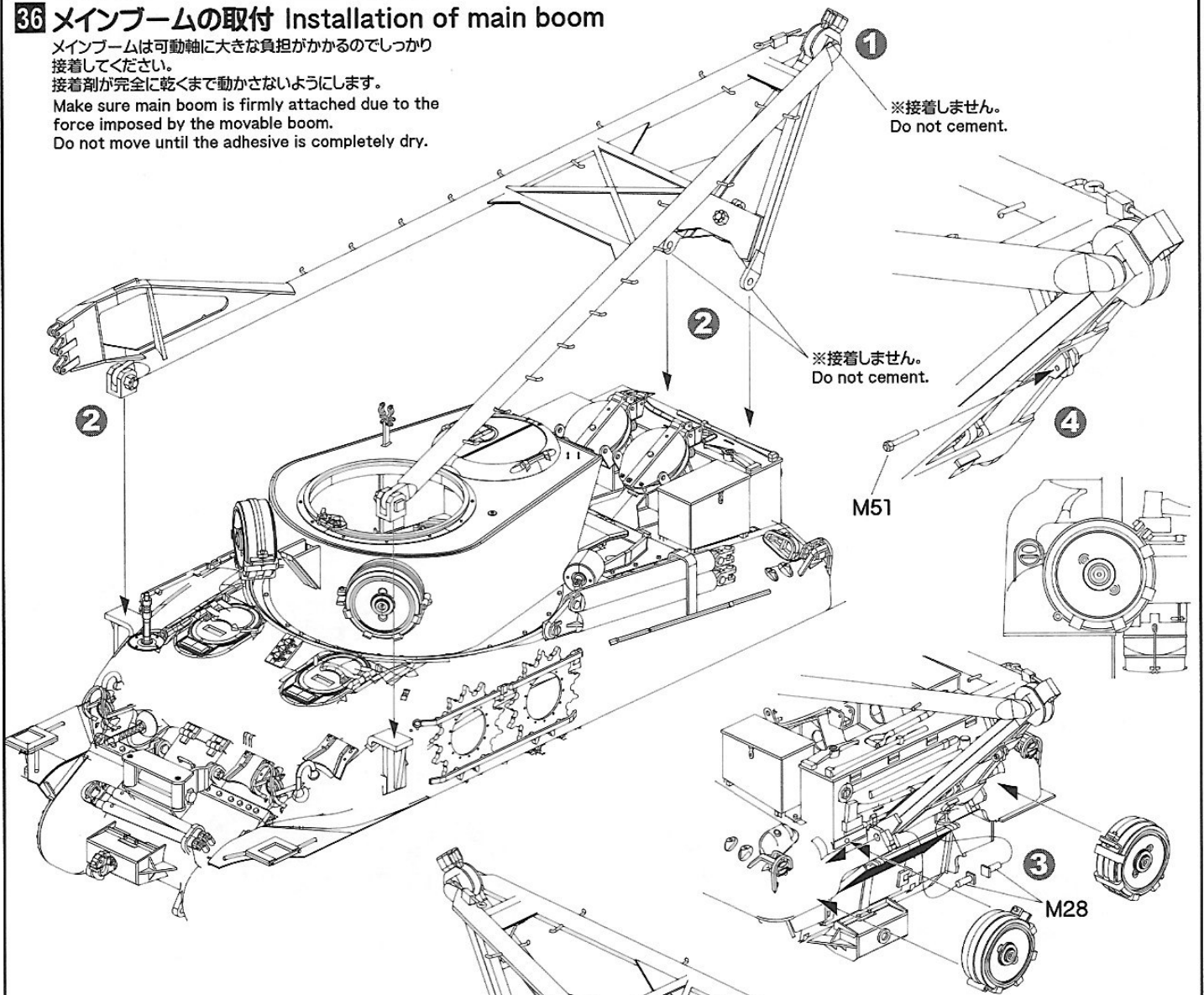


35 メインブームの組立 Main boom assembly



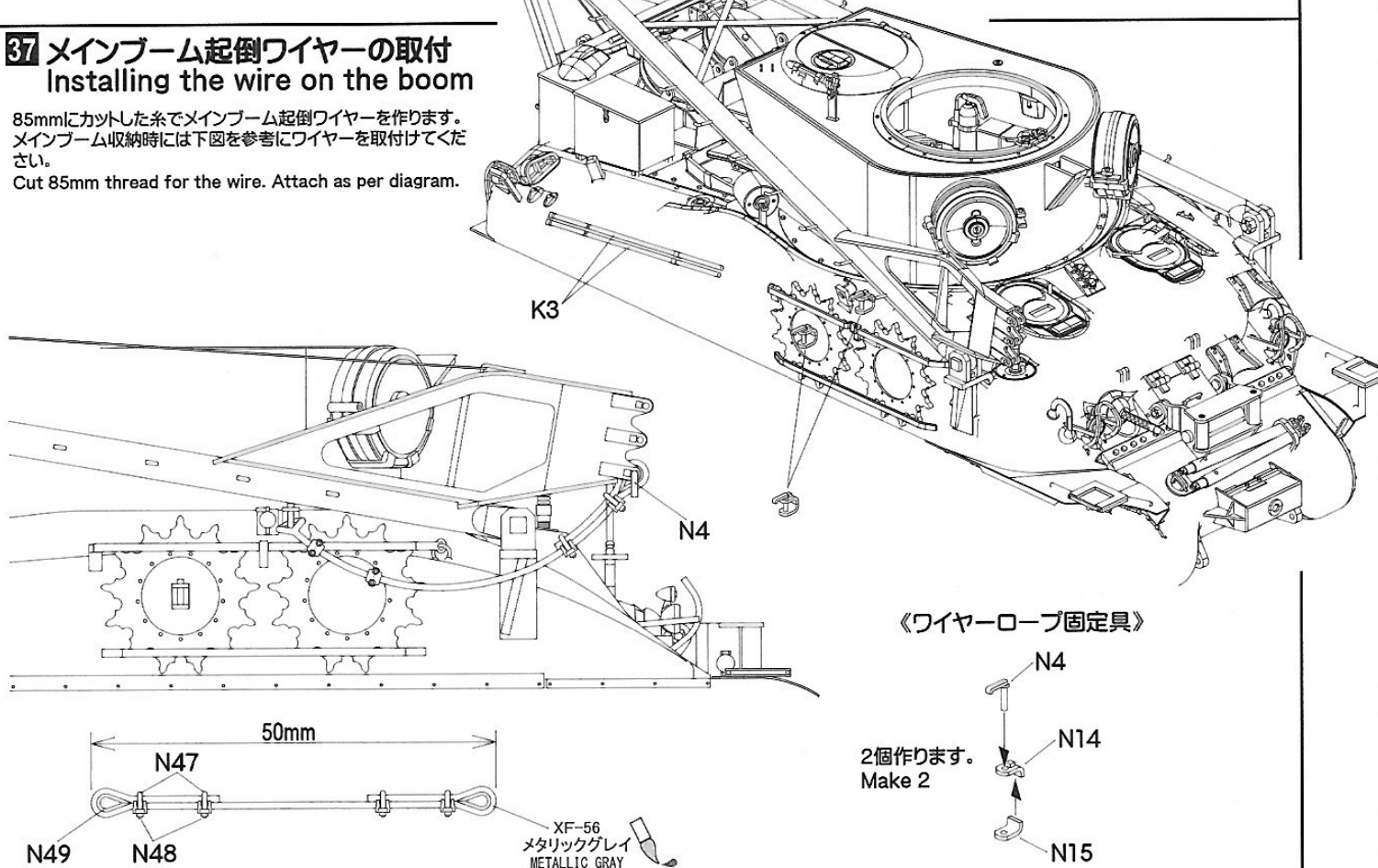
36 メインブームの取付 Installation of main boom

メインブームは可動軸に大きな負担がかかるのでしっかり
 接着してください。
 接着剤が完全に乾くまで動かさないようにします。
 Make sure main boom is firmly attached due to the
 force imposed by the movable boom.
 Do not move until the adhesive is completely dry.



37 メインブーム起倒ワイヤーの取付 Installing the wire on the boom

85mmにカットした糸でメインブーム起倒ワイヤーを作ります。
 メインブーム収納時には下図を参考にワイヤーを取付けてくだ
 さい。
 Cut 85mm thread for the wire. Attach as per diagram.



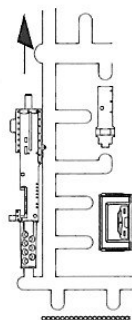
38 M2重機関銃の組立 M2 Machine Gun Assembly

このページではコマンドースハッチ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。

This page instruction assembles cupola M2 machine gun.

A 機銃本体の組立

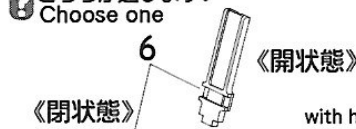
ランナーから機銃本体を引き抜きます。
Pull the machine gun itself from the runner.



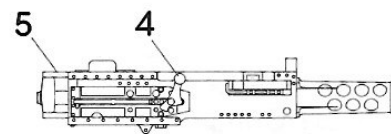
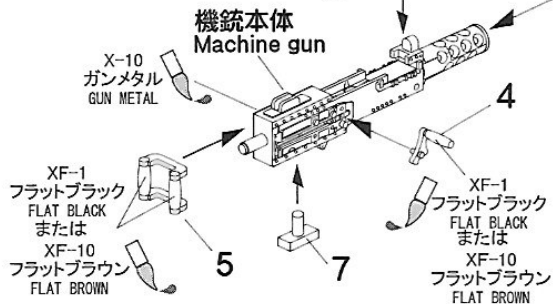
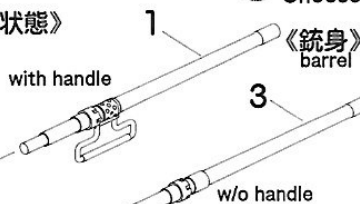
ゲートの跡を整形します。
Gate mark fairing stripe



② どちらか選びます。
Choose one



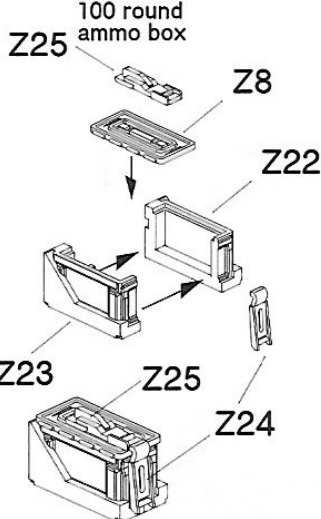
② どちらか選びます。
Choose one



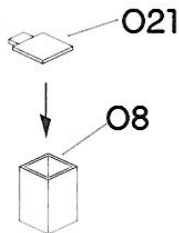
取付位置詳細図
Installation position detail

B 弾薬箱の組立 Ammunition box assembly

《100発用弾薬箱》
100 round ammo box



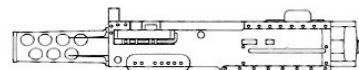
《50発用弾薬箱》
50 round ammo box



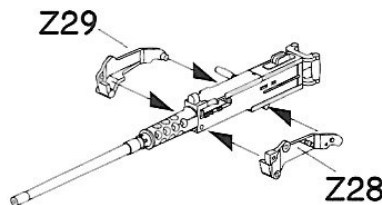
C 揺架の取付

機銃本体を取付けず揺架のみで組み立てることもできます。この場合は接着部分が非常に小さくなるので注意して下さい。

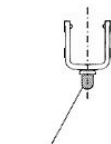
Cradle installation.
Please note: If the machine gun is not to be installed, it is possible to install only the cradle. In this case gluing the parts becomes very delicate. Take care.



揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.

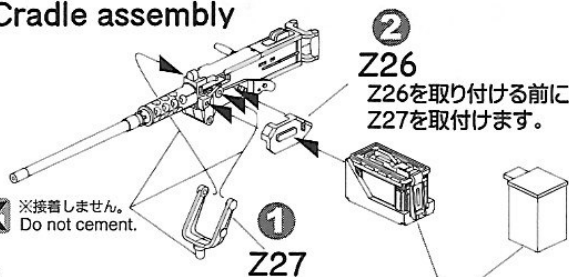


D 揺架の組立 Cradle assembly



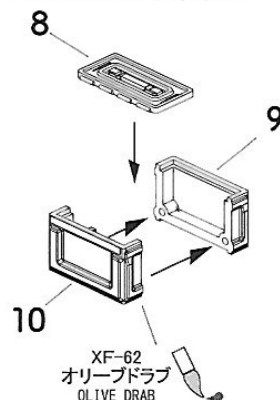
Z27の軸は若干太いのでカッターなどで若干細く加工します。
Make Z27 about 0.1mm thinner before fitting Machine gun.

※接着しません。
Do not cement.



《弾薬箱》
② どちらか選びます。
Choose one

《100発用弾薬箱》



《予備銃身》



本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。
Please note spare barrel differs from the main barrel

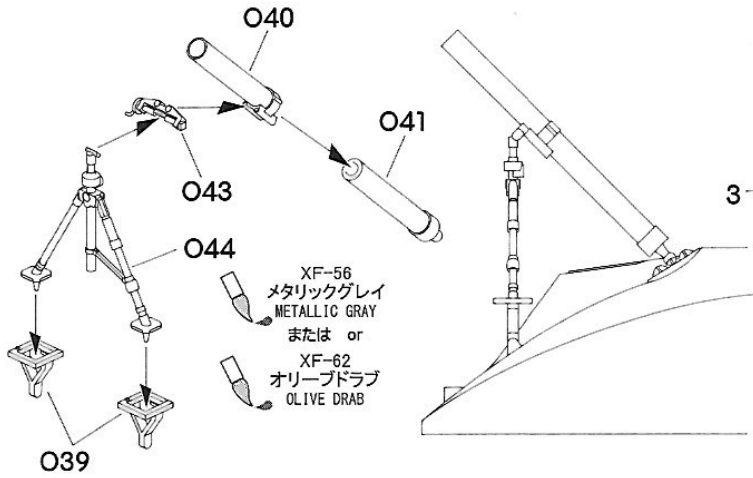
《弾帯》



11 弾帯はお湯に浸けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。
Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

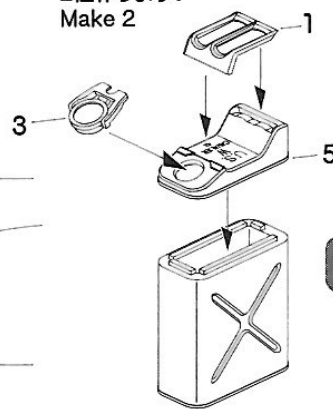
39 M1迫撃砲の組立 M1 mortar assembly

ジェリカンの組み立て



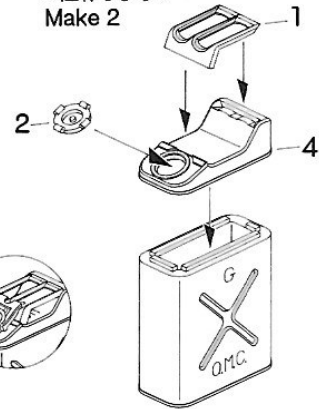
《水用》water

2個作ります。
Make 2



《ガソリン用》gasoline

2個作ります。
Make 2



40 M32B1の完成 M32B1 Completion

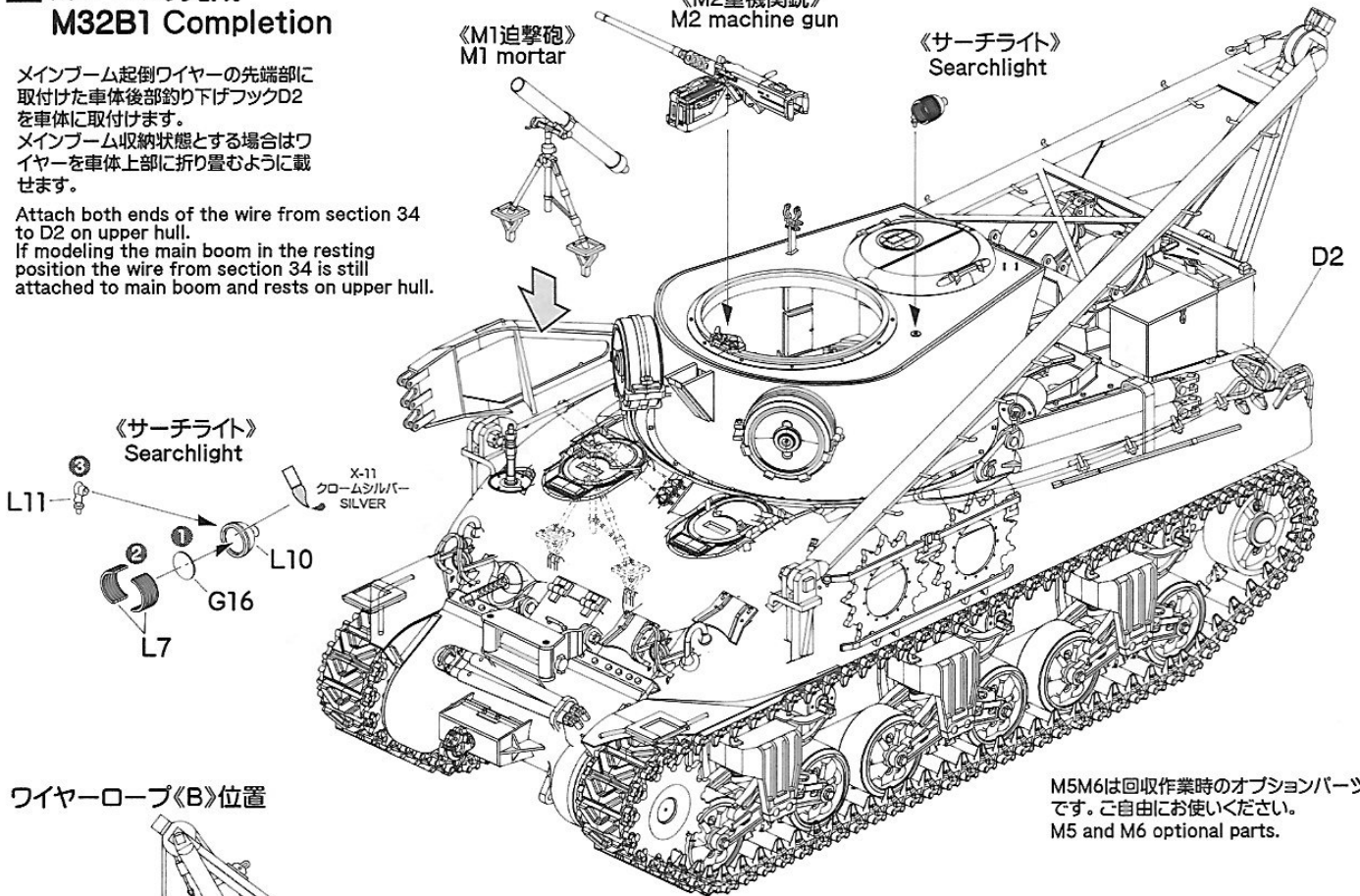
メインブーム起倒ワイヤーの先端部に取付けた車体後部釣り下げフックD2を車体に取り付けます。メインブーム収納状態とする場合はワイヤーを車体上部に折り畳むように載せます。

Attach both ends of the wire from section 34 to D2 on upper hull. If modeling the main boom in the resting position the wire from section 34 is still attached to main boom and rests on upper hull.

《M1迫撃砲》
M1 mortar

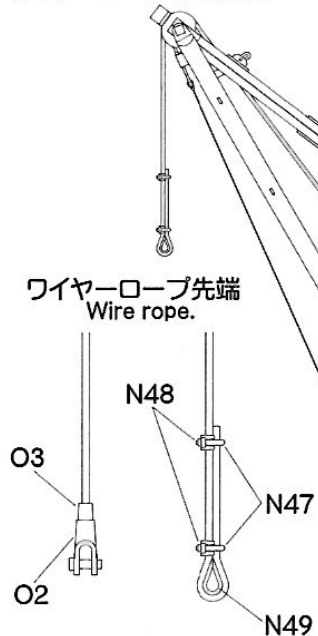
《M2重機関銃》
M2 machine gun

《サーチライト》
Searchlight

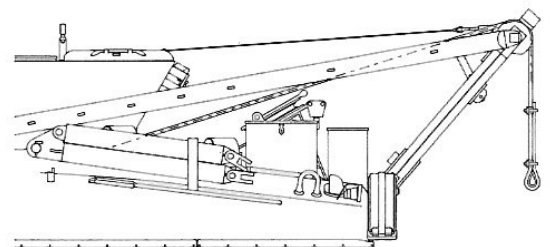


M5M6は回収作業時のオプションパーツです。ご自由にお使いください。
M5 and M6 optional parts.

ワイヤーロープ《B》位置



ワイヤーロープ《C》位置



ワイヤーロープ先端
Wire rope.

どちらか選びます。
Select either.

M32B1戦車回収車について

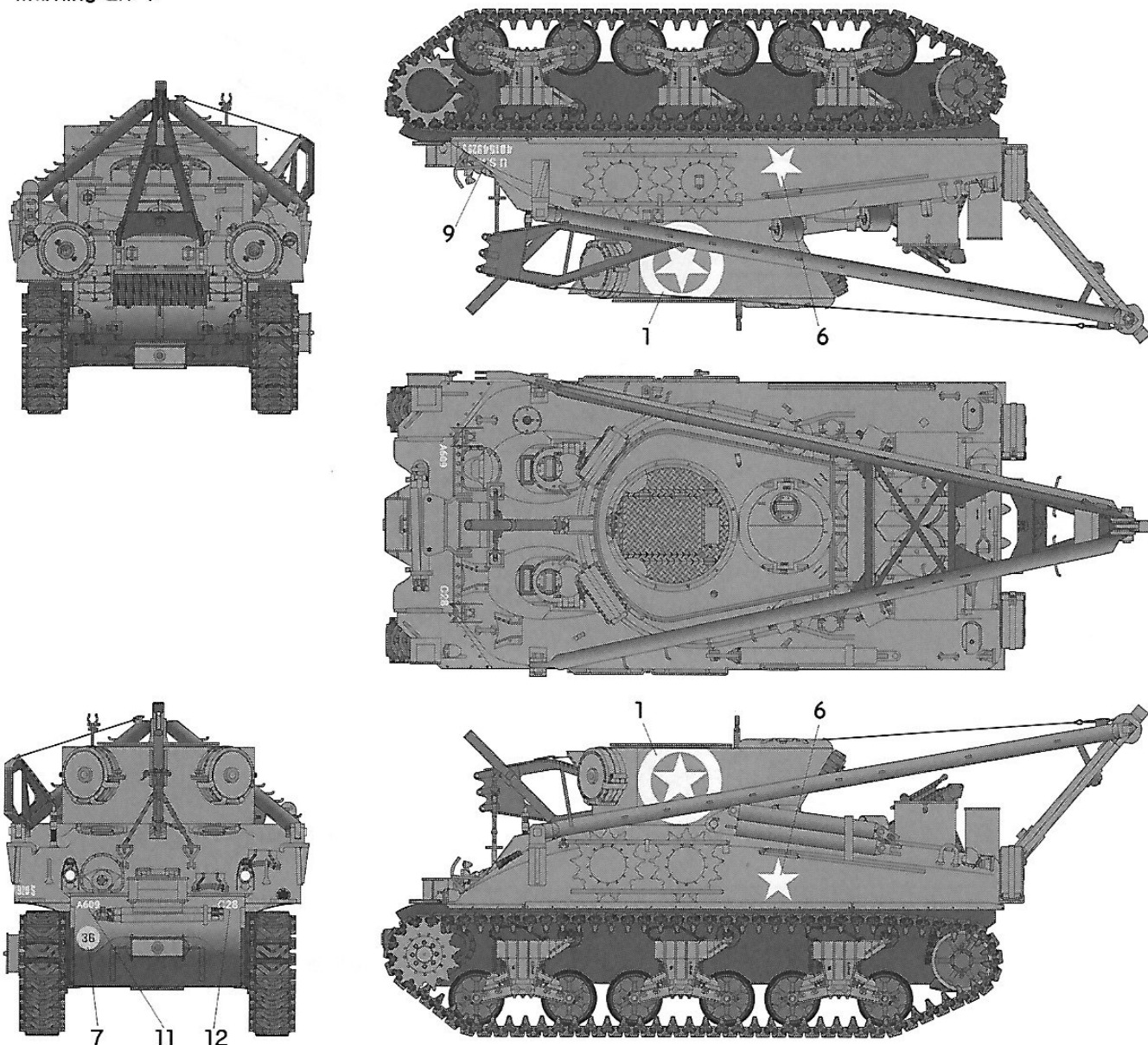
戦場では常に損耗する戦闘車輛の早期の前線への復帰が戦力維持の為に非常に重要で、このため回収作業にあたる車輛の開発は以前から行われてきましたが、前線での車輛回収には戦闘に巻き込まれるリスクも高く、装甲化された車輛の必要性が認識されるようになりました。M32シリーズの前身にあたるM31はM3中戦車をベースとして使用していましたが、主力戦車がM4シャーマンに移行したことで、M4シャーマンを基に新規開発されることとなったのです。M31はM3中戦車から主砲を撤去し、車体内部にウインチを装備する構造はM32と同じでしたが、クレーンは固定式で、回収方法に制限がありました。こうしたM31での運用経験を踏まえ、M32では砲塔を撤去したM4の車体に専用の司令塔と可動する大型のクレーンを装備し、内部のウインチにより多様な牽引・回収方法に対応できるように様々な工夫が施されていました。車体内部の中央に装備するカー・ウツ社製ウインチは30000ポンド(13.6t)の巻き上げ能力を有し、車体の各部に設けられたワイヤー取出し口から牽引ワイヤーを伸ばし、これと組み合わせて総重量10000ポンド(4.5t)まで釣り下げ可能なクレーンのメインブームを前後に起倒することで故障した戦車のエンジンや砲塔の交換、横転やスタックした車輛の救助など、多様な回収方法への対応を実現したのです。メインブームを後方に収納した状態では

ツッカーのように車輛を牽引することができ、また車輛の前後には大型の牽引フックが装備され、大小2種のドロウバー(牽引棒)を使用して故障車の牽引を行うことができました。M32には様々な回収機材や予備部品が搭載され、応急的な修理が可能となっていました。前線での車輛回収を目的としているため、車体の前方には煙幕弾を発射するためのM1 81mm迫撃砲が装備され、戦闘室の天面には自衛火器としてM2重機関銃がリングマウントに搭載されていました。M32シリーズの開発は1942年3月から始められ、多様なM4シャーマンの形式にあわせ、車体の異なる形式が複数用意されることとなりました。元になつた形式の違いにより、M4をベースとしたM32、M4A1をベースとしたものがM32B1、M4A3をベースとしたものがM32B3と呼ばれました。M32B1は1943年12月から量産が開始され、M32シリーズの総生産数1577輛のうち約半数がM32B1で占められていました。M32は戦車部隊の中隊本部等の整備班に配備されましたが、その運用は戦闘状況に合わせて師団単位でさまざまな装甲部隊に適宜隷属されて運用されていたようです。M32シリーズは戦後もM4シャーマンの運用に合わせ、各部が改修されながら朝鮮戦争にも参加、自衛隊にも供与され、70年代の後半まで使用され続けたのです。

塗装例 1

第609戦車駆逐大隊 C中隊 1945年1月 ベルギー・バストーニュ
C Company, 609th Tank Destroyer Battalion, Bastogne, January 1945.

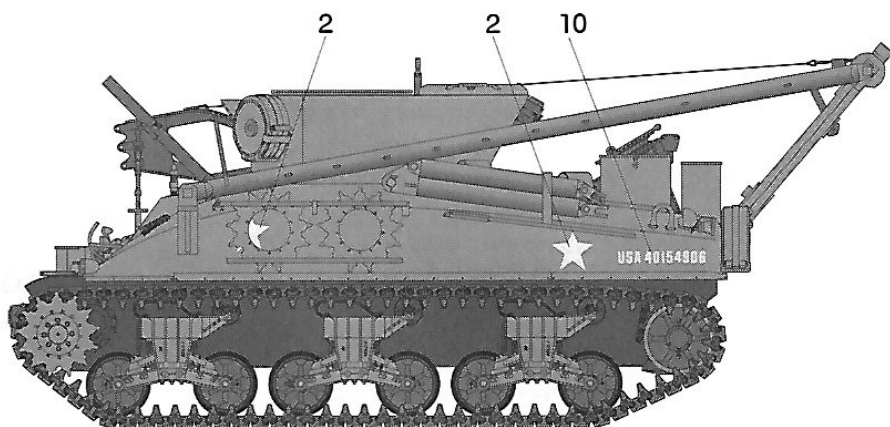
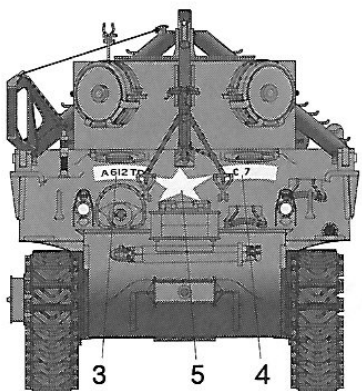
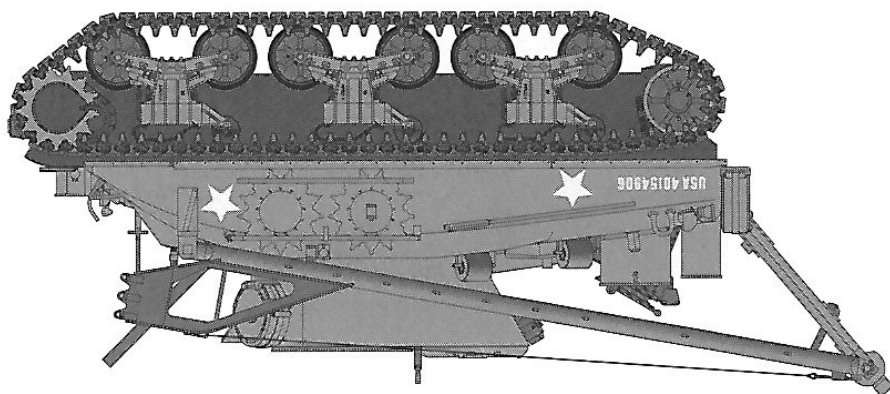
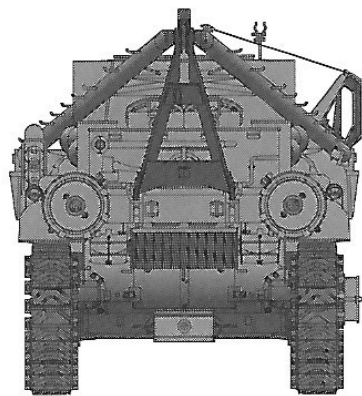
Marking Ex. 1.



塗装例 2

第612戦車駆逐大隊 A中隊 1945年5月 チェコスロバキア
A Company, 612th Tank Destroyer Battalion, Czechoslovakia, May 1945.

Marking Ex. 2.



■M32B1戦車回収車の塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。車輛の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合があります。また車体側面にはU.S.A.で始まる車輛登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輛では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

《不要部品》 Not used.

- A部品 3-7,11,12
- B部品 1,10-13,17,23
- C部品 1-6,14,18,19,21,22,28,36,38,39,40,42,43-54
- D部品 13,10
- E部品 2-6
- G部品 4,5,8,9,13,15
- J部品 7-9,13-15,17-23,27-29
- L部品 6,8,9,12-20,23
- P部品 (ポリキャップ poly cap) 1
- エッチング (PE) 2,4

取材協力：陸上自衛隊富士学校
・パッケージ原画：島村英二氏
・イラスト：モリナガ・ヨウ氏

■アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

- 電話/FAXでの受付 TEL 054-203-2100
- メールでの受付 info@tasca-modellismo.com
- お手紙での受付 / 部品代金の送付先 〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
- 有限会社タスカモテリズモ 部品請求係

■カラーナンバー対応表 ※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR	GSIクレオス Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドリーブ	⑨ ゴールド
X-18 セミグロスブラック	92 セミグロスブラック
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-2 フラットホワイト	62 つや消しホワイト
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	131 赤褐色
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+30フラットベース
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

APPLYING DECALS

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつずらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

有限会社 タスカモテリズモ

〒422-8027
静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103
http://www.tasca-modellismo.com
E-mail info@tasca-modellismo.com

© 2012 tasca MADE IN JAPAN